

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野
授業科目名	臨床実習Ⅰ(見学実習)	担当教官名	堂岡 悠理・学科専任教員
対象学生	1 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	80時間
授業のキーワード	臨床にふさわしい態度・技能を習得する		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 臨床実習指導者の管理下の中で、臨床で求められるマナーを習得し、実際の作業療法を理解します。</p> <p>到達目標 ①作業療法士が働く施設について説明する事ができる ②作業療法士の役割について説明する事ができる ③見学・経験した事を適切に記録する事ができる ④作業療法士に必要な知識を説明する事ができる ⑤地域包括ケアシステムの概要を説明できる</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 臨床時には総合病院で主に急性期を担当。また地域包括ケア病棟での作業療法を経験し退院支援にも携わってきた。京都府作業療法士会ではMTDLP推進委員に所属 2020年 臨床実習指導者講習会 2021年 第一回理学療法士・作業療法士専任教員養成講習会</p>		
講義計画・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習オリエンテーション・レポート作成の習得</li> <li>・客観的能力試験</li> </ul> <p>【臨床実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的態度</li> <li>・作業療法対象患者とのコミュニケーション</li> </ul> <p>【実習後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習報告会</li> <li>・客観的能力試験</li> <li>・個別面談</li> </ul>		
準備学習	日常的に挨拶、報告・連絡・相談などができるよう、意識的に行動して下さい。		
教科書・教材等	1年次で配布した、資料・教科書		
授業の形式 教育機器の活用	実 習    パソコン   プロジェクター   検査器具		
成績評価の方法	実習施設評価(50%)    学内評価(50%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法士としての役割を理解し興味・関心を高めていきましょう。また、実習生としての立ち居振る舞いを学修し自己学習態度も身につけていきましょう。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	チーム医療論 I	担当教官名	堂岡 悠理
対象学生	1 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	チームリハビリテーション、多職種連携、		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 チーム医療の基本概念と作業療法士の働く分野、関わる職種の働きなどを実践を通して習得します。</p> <p>到達目標 ①多職種連携の目的、効果、構成職種を理解し説明できる ②作業療法士としての職、役割について理解し説明できる ③クラスをチームとして捉え、共に学び協同することができる</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 総合病院勤務 2021年 京都医健専門学校 臨床では総合病院で主に急性期を担当。また地域包括ケア病棟を経験し、退院支援にも携わってきた。京都府作業療法士会ではMTDLP推進委員に所属。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション (チーム医療の必要性 チーム医療の目的・効果・構成職種)</li> <li>2 チーム構成職種を理解する(理学療法士:役割、歴史、職域)</li> <li>3 チーム構成職種を理解する(言語聴覚士:歴史役割、職域)</li> <li>4 チーム構成職種を理解する(鍼灸師:歴史役割、職域)</li> <li>5 チーム構成職種を理解する(トータルビューティアー/ネイリスト:福祉ネイルについて)</li> <li>6 チーム構成職種を理解する(健康運動指導士:歴史役割、職域)</li> <li>7 構成職種の理解と作業療法士としての役割、可能性について(発表準備)</li> <li>8 構成職種の理解と作業療法士としての役割、可能性について(発表)</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	授業終了後に授業内容のまとめを記入し、レポートの提出をしてください。提出〆切は授業終了後1週間後を基本とします。		
教科書・教材等	配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	演習 視聴覚機器、ホワイトボード		
成績評価の方法	定期試験(50%) レポート/発表(50%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	チーム医療にはコミュニケーション力や観察力が必要となります。各職種の理解では専門職の方々が講師となり実技授業を行います。その中で、作業療法士が活躍できる職域や可能性について考えていきましょう。		

学科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	医学総論	担当教官名	渡邊 弘樹
対象学生	1 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	人体器官組織の形態 器官組織の機能 疾患病態との融合知識		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 医学の基本理念や日本の医学制度について学びます。</p> <p>到達目標 ①細胞組織レベルの変化が病態と結びつくことを概説できる ②消化器系、呼吸器系、内分泌系、泌尿生殖器系、中枢神経系の各器官、組織、細胞レベルの特徴について、形態と生理機能的に説明できる。 ③解剖と生理学を融合した各臓器器官の説明ができる。</p> <p>実務者経験 前解剖学大学教授、医学博士(岡山大学)、歯科医師</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 細胞①</li> <li>2 細胞②と活性酸素フリーラジカル</li> <li>3 皮膚と消化器系Ⅰ(口腔、咽頭)</li> <li>4 消化器系Ⅱ(食道、胃、小腸、大腸)</li> <li>5 消化器系Ⅲ(肝臓、胆嚢、膵臓)</li> <li>6 細胞から消化器系到達目標チェック</li> <li>7 まとめ 融合理解の確認</li> <li>8 内分泌系(膵臓、副腎、甲状腺、下垂体)</li> <li>9 心臓と血液循環器系</li> <li>10 呼吸器系(鼻腔、喉頭、気管、肺)</li> <li>11 腎臓と泌尿生殖器系</li> <li>12 感覚器系</li> <li>13 中枢神経系</li> <li>14 末梢神経系</li> <li>15 まとめ (到達目標チェック)</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	特記無し		
教科書・教材等	1標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖学 医学書院 2 同生理学 3 配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	講義 特記無し		
成績評価の方法	中間試験、定期試験(合わせて100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	限られた講義時間ですべての必要項目を学ぶため、1講義あたりの進度が速い。よって、講義時に配布される穴埋め講義ノートプリントを利用した講義終了後の復習が、必要である。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	運動学 I	担当教官名	岩井 有香・谷村浩子
対象学生	1	履修学期	後 期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	骨・関節・靭帯・筋・関節の種類 肘関節の運動		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 運動の基本概念と運動に関する器官と仕組みについて習得します</p> <p>到達目標 ①運動器の構造と機能について説明できる。 ②肘関節、前腕の構造について説明できる。 ③関節運動に必要な筋の起始停止・支配神経を説明できる。</p> <p>実務者経験 2007年作業療法士国家資格取得 2007年医療法人和風会 千里リハビリテーション病院入職 2010年大阪医科大学附属病院(現:大阪医科薬科大学病院)入職 2023年より現職 臨床現場では、脳血管疾患、脳腫瘍、整形外科疾患、内部疾患などの多岐にわたる症例の診療に携わってきた。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 動きの方向の復習、運動器の構造と機能(岩井)</li> <li>2 運動器の構造と機能 関節と骨(岩井)</li> <li>3 運動器の構造と機能 運動軸の理解(岩井)</li> <li>4 運動器の構造と機能 運動器の構造と機能(岩井)</li> <li>5 生体力学 てこ(岩井)</li> <li>6 筋の起始停止、骨の部位の名称(谷村・岩井)</li> <li>7 筋の起始停止、骨の部位の名称(谷村・岩井)</li> <li>8 筋の起始停止、骨の部位の名称(谷村・岩井)</li> <li>9 筋の起始停止、末梢神経の支配筋(谷村・岩井)</li> <li>10 筋の起始停止、末梢神経の支配筋(谷村・岩井)</li> <li>11 肘関節・前腕の運動学 肘関節の構造(谷村)</li> <li>12 肘関節・前腕の運動学 関与する筋(谷村)</li> <li>13 肘関節・前腕の運動学 関与する筋(谷村)</li> <li>14 肘関節・前腕の運動学(谷村)</li> <li>15 まとめ 国家試験演習(岩井)</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	受講するにあたり解剖学的知識の羅列的暗記のみならず、生理学、運動学等の関連領域の概念の先行予習が必要である。		
教科書・教材等	理学療法・作業療法テキスト 運動学 講義資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器、模型等		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	解剖学を十分復習して臨んで下さい。正常な人体の構造・機能に関する理解は作業療法士として必須項目である。臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。毎回の講義内容が膨大なものとなるため、予習、復習は必須条件である。また、体調管理には十分留意し、くれぐれも欠席をしないようにしましょう。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	運動学 I	担当教官名	岩井 有香・谷村浩子
対象学生	1	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	骨・関節・靭帯・筋・関節の種類 肘関節の運動		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 運動の基本概念と運動に関する器官と仕組みについて習得します</p> <p>到達目標 ①運動器の構造と機能について説明できる。 ②肘関節、前腕の構造について説明できる。 ③関節運動に必要な筋の起始停止・支配神経を説明できる。</p> <p>実務者経験 2007年作業療法士国家資格取得 2007年医療法人和風会 千里リハビリテーション病院入職 2010年大阪医科大学附属病院(現:大阪医科薬科大学病院)入職 2023年より現職 臨床現場では、脳血管疾患、脳腫瘍、整形外科疾患、内部疾患などの多岐にわたる症例の診療に携わってきた。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 動きの方向の復習、運動器の構造と機能(岩井)</li> <li>2 運動器の構造と機能 関節と骨(岩井)</li> <li>3 運動器の構造と機能 運動軸の理解(岩井)</li> <li>4 運動器の構造と機能 運動器の構造と機能(岩井)</li> <li>5 生体力学 てこ(岩井)</li> <li>6 筋の起始停止、骨の部位の名称(谷村・岩井)</li> <li>7 筋の起始停止、骨の部位の名称(谷村・岩井)</li> <li>8 筋の起始停止、骨の部位の名称(谷村・岩井)</li> <li>9 筋の起始停止、末梢神経の支配筋(谷村・岩井)</li> <li>10 筋の起始停止、末梢神経の支配筋(谷村・岩井)</li> <li>11 肘関節・前腕の運動学 肘関節の構造(谷村)</li> <li>12 肘関節・前腕の運動学 関与する筋(谷村)</li> <li>13 肘関節・前腕の運動学 関与する筋(谷村)</li> <li>14 肘関節・前腕の運動学(谷村)</li> <li>15 まとめ 国家試験演習(岩井)</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	受講するにあたり解剖学的知識の羅列的暗記のみならず、生理学、運動学等の関連領域の概念の先行予習が必要である。		
教科書・教材等	理学療法・作業療法テキスト 運動学 講義資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器、模型等		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	解剖学を十分復習して臨んで下さい。正常な人体の構造・機能に関する理解は作業療法士として必須項目である。臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。毎回の講義内容が膨大なものとなるため、予習、復習は必須条件である。また、体調管理には十分留意し、くれぐれも欠席をしないようにしましょう。		

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	栄養学	担当教官名	山本 千恵
対象学生	1 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	栄養素の代謝 栄養素の役割 人体の機能維持 リハビリテーション医療		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 健康を維持するための栄養とその指標、食事法などについて学ぶ。</p> <p><b>到達目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①三大栄養素の消化、吸収と体内での代謝、排泄について理解できる</li> <li>②正常な栄養状態を維持する栄養素の必要量の考え方について理解できる</li> <li>③リハビリテーション医療について説明できる</li> <li>④講義内容を振り返り、栄養状態を維持・改善するための栄養補給について理解し、説明することができる</li> </ol> <p><b>実務者経験</b> 管理栄養士として実務経験を有する。 平成16年～平成18年3月まで病院の栄養管理室に勤務し、心臓疾患をはじめとする様々な疾患に対する栄養指導を実施、平成18年～平成21年まで社会福祉法人に勤務し、高齢者の栄養ケアマネジメント業務を行っていた。現在は高齢者をはじめとする様々な年齢の市民に対して栄養情報を提供する地域活動をはじめ、保育者養成施設において栄養に関する授業を担当している。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 リハビリテーションにおける栄養知識の重要性について 栄養の基礎①(糖質、食物繊維)</li> <li>2 栄養の基礎②(脂質、たんぱく質)</li> <li>3 栄養の基礎③(ビタミン、ミネラル、水)</li> <li>4 栄養の基礎④(栄養素の消化・吸収について) 小テスト</li> <li>5 栄養の基礎⑤ (エネルギー代謝、日本人の食事摂取基準について)</li> <li>6 ライフステージと栄養 (乳児期～高齢者まで各ライフステージにおける栄養について)</li> <li>7 多職種におけるチームアプローチについて 小テスト</li> <li>8 臨床栄養、まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	1回目の授業で授業計画表を配布します。授業日程、授業内容を確認し、教科書及び配布プリントをよく読み、予習と復習に取り組み理解を深めてください。また、授業内で小テストを実施します。説明する該当箇所を復習し取り組んでください。		
教科書・教材等	専門基礎分野 栄養学 医学書院		
授業の形式 教育機器の活用	講義 パワーポイント使用		
成績評価の方法	小テスト(30%) レポート課題(10%) 定期試験(60%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	リハビリテーションと栄養学は密接な関係にあります。本講義では栄養学の基本的な知識を習得するとともに、リハビリテーションを必要とする方々に役立つ栄養の知識も習得できるよう、授業を進めていきます。また、授業内で小テストを2回実施し、理解度を評価していきます。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	解剖生理学 I -2(内科系)	担当教官名	森嶋 祥之
対象学生	1 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	排泄消化・吸収, 代謝, ホメオスターシス		
講義計画・内容	<p>授業の概要 排泄、消化・吸収、内分泌系、エネルギー代謝について学ぶ 到達目標 専門科目の基礎となる生体の機能に関する理解</p> <p>実務者経験 1978年 臨床検査技師・薬剤師国家資格取得 1978年～2015年 近畿大学病院 中央臨床検査部 2010年～2015年 近畿大学病院 輸血・細胞治療センター兼務 2015年～2017年 近畿大学病院 薬剤部 主な著書: 薬剤師のための基礎からの検査値の読み方 第2版</p>		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 尿の生成と排泄①腎臓の役割, 腎臓の構造</li> <li>2 尿の生成と排泄②尿の生成、クリアランス</li> <li>3 尿の生成と排泄③排尿, 排尿異常</li> <li>4 消化と吸収①消化器の役割, 口腔内消化と嚥下, 食道</li> <li>5 消化と吸収②胃の役割と消化</li> <li>6 消化と吸収③十二指腸, 空腸, 回腸</li> <li>7 消化と吸収④大腸の役割, 肝臓の役割</li> <li>8 小テスト</li> <li>9 内分泌①内分泌機能とホルモン(1)</li> <li>10 内分泌②内分泌機能とホルモン(2)</li> <li>11 内分泌③ホルモンの作用(1)</li> <li>12 内分泌④ホルモンの作用(2)</li> <li>13 代謝と体温①栄養素、エネルギー代謝</li> <li>14 代謝と体温②体温</li> <li>15 まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	教科書の該当部分を通読		
教科書・教材等	教科書(標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学第6版) パワーポイント		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器使用		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	指定の教科書に加え、毎回学習資料を配布。グループ学習を通じて理解を促す授業もある。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	解剖生理学Ⅱ-2(神経系)	担当教官名	糟谷 圭吾
対象学生	1 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	脊髄神経後枝、頭神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢、自律神経系		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 中枢神経系及び末梢神経系の構造・働きについて学ぶ。</p> <p>到達目標 生命維持にかかせない概念を習得し、本授業終了時には人体の構造・機能について説明ができるようになる。</p> <p>実務者経験 1994～1996 歯科医療研修振興財団 臨床研修課程を収める。 1996～歯科医師として臨床業務に従事。 1998～2001歯学部付属病院に所属する。主業務として中央手術室における全身麻酔管理および外来病棟(有病者歯科)における全身管理業務に従事。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 頭神経と頭神経叢</li> <li>2 腕神経叢①</li> <li>3 腕神経叢②</li> <li>4 胸神経と腰神経叢①</li> <li>5 腰神経叢②</li> <li>6 仙骨神経叢①</li> <li>7 仙骨神経叢②</li> <li>8 尾骨神経叢</li> <li>9 脳神経①</li> <li>10 脳神経②</li> <li>11 脳神経③</li> <li>12 自律神経系①</li> <li>13 自律神経系②</li> <li>14 末梢神経の機能による分類</li> <li>15 末梢神経系のみとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	前提:この授業を受講するにあたり解剖学的知識の羅列的暗記のみならず、当該学習項目と関連する生理学、運動学等の関連領域の概念の先行予習が必要である。当該学習項目に関する領域の国家試験問題について正答を得ることができる。		
教科書・教材等	「解剖学」改訂 第5版 医学書院 「生理学」改訂 第5版 医学書院		
授業の形式 教育機器の活用	演 習 視聴覚機器利用		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	正常な人体の構造・機能に関する理解は作業療法士として必須項目である。臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。ともすれば、暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して欲しい。毎回の講義が膨大のものとなるため、予習、復習は必須条件である。また、体調管理には十分留意し、くれぐれも欠席をしない様にして下さい。		



令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	解剖生理学Ⅱ-2(神経系)	担当教官名	糟谷 圭吾
対象学生	1 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	脊髄神経後枝、頭神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢、自律神経系		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 中枢神経系及び末梢神経系の構造・働きについて学ぶ。</p> <p>到達目標 生命維持にかかせない概念を習得し、本授業終了時には人体の構造・機能について説明ができるようになる。</p> <p>実務者経験 1994～1996 歯科医療研修振興財団 臨床研修課程を収める。 1996～歯科医師として臨床業務に従事。 1998～2001歯学部付属病院に所属する。主業務として中央手術室における全身麻酔管理および外来病棟(有病者歯科)における全身管理業務に従事。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 頭神経と頭神経叢</li> <li>2 腕神経叢①</li> <li>3 腕神経叢②</li> <li>4 胸神経と腰神経叢①</li> <li>5 腰神経叢②</li> <li>6 仙骨神経叢①</li> <li>7 仙骨神経叢②</li> <li>8 尾骨神経叢</li> <li>9 脳神経①</li> <li>10 脳神経②</li> <li>11 脳神経③</li> <li>12 自律神経系①</li> <li>13 自律神経系②</li> <li>14 末梢神経の機能による分類</li> <li>15 末梢神経系のみとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	前提:この授業を受講するにあたり解剖学的知識の羅列的暗記のみならず、当該学習項目と関連する生理学、運動学等の関連領域の概念の先行予習が必要である。当該学習項目に関する領域の国家試験問題について正答を得ることができる。		
教科書・教材等	「解剖学」改訂 第5版 医学書院 「生理学」改訂 第5版 医学書院		
授業の形式 教育機器の活用	演習 視聴覚機器利用		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	正常な人体の構造・機能に関する理解は作業療法士として必須項目である。臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。ともすれば、暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して欲しい。毎回の講義が膨大のものとなるため、予習、復習は必須条件である。また、体調管理には十分留意し、くれぐれも欠席をしない様にして下さい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	基礎作業学Ⅱ	担当教官名	辻井 智・加藤 孝幸
対象学生	1 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	創作活動 作業の分類 作業分析 評価・治療と根拠		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 作業療法の基本的な思考過程を作業療法場面で多用される活動を用いて習得します。</p> <p>到達目標 作業が治療法として成り立つ要件や根拠を理解し、説明できる 作業療法の理論と作業分類について理解し、説明できる 対象者の目的に応じた作業活動を提案できる考え方を理解し、説明できる。</p> <p>実務者経験 作業療法士として一般病院・老人保健施設・訪問リハビリテーション・住宅改修など、臨床から在宅指導まで経験。 また、施設長としてリハビリテーション関連施設の管理運営を行ってきた 資格:作業療法士・介護支援専門員・福祉用具プランナー</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション・作業療法の理論と役割</li> <li>2 身体運動技能と作業分析の理論と方法</li> <li>3 認知技能と作業分析の理論と方法</li> <li>4 心理社会的技能と作業分析の理論と方法</li> <li>5 感覚統合と作業分析の理論と方法</li> <li>6 季節作業</li> <li>7 季節作業</li> <li>8 特殊工具を使った作業</li> <li>9 特殊工具を使った作業(作業分析)</li> <li>10 作業作成</li> <li>11 作業作成</li> <li>12 作業発信</li> <li>13 身体機能作業療法への治療的応用①</li> <li>14 精神機能作業療法への治療的応用②・まとめ</li> <li>15 精神機能作業療法への治療的応用③・まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	配布資料の復習		
教科書・教材等	標準作業療法学 基礎作業学(医学書院)		
授業の形式 教育機器の活用	演習 パソコン プロジェクター		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業活動を通して、「楽しむこと」「試行錯誤すること」「作業過程でどのような身体・精神機能が用いられるか考えること」「作業過程をどう対象者に提供できるか考えること」を期待します。観察が評価へ繋がることを感じてほしい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野
授業科目名	作業療法総合演習 I -1	担当教官名	堂岡 悠里・加藤 孝幸・安田 育生
対象学生	1 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	医療福祉 障がい者スポーツ 小児発達		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 1年次に学習した基本の手技を応用できるよう実践を通して習得します。</p> <p>到達目標 ①臨床における必要な知識・技術を身につけ実践する事ができる。 ②分野による作業療法士の役割の違いを知る。</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 臨床時には総合病院で主に急性期を担当。また地域包括ケア病棟での作業療法を経験し退院支援にも携わってきた。京都府作業療法士会ではMTDLP推進委員に所属している 2020年 臨床実習指導者講習会 2021年 第一回理学療法士・作業療法士専任教員養成講習会</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツ分野:オリエンテーション</li> <li>2 スポーツ分野:作業療法士と障がい者スポーツ(パラスポーツ)</li> <li>3 スポーツ分野:スポーツ体験</li> <li>4 スポーツ分野:グループ検討</li> <li>5 医療福祉:オリエンテーション・先端的リハビリテーションの実態</li> <li>6 医療福祉:様々なリハビリテーション(動物介在療法・園芸療法・音楽療法)</li> <li>7 医療福祉:現場での最新リハビリテーション治療紹介</li> <li>8 医療福祉:ロボット介入療法(LOVOTを知る)</li> <li>9 医療福祉:LOVOTの効果について考える(グループ検討)</li> <li>10 小児分野:オリエンテーション</li> <li>11 小児分野:調べ学習</li> <li>12 小児分野:レクリエーション立案</li> <li>13 小児分野:グループ検討</li> <li>14 レポート作成</li> <li>15 発表</li> <li>16 まとめ</li> </ol>		
準備学習	授業前にそれぞれの分野について予習をしておきましょう		
教科書・教材等	配布資料 標準作業療法学作業療法評価学 臨床実習とOSCE		
授業の形式 教育機器の活用	演 習 視聴覚機器		
成績評価の方法	レポート課題(100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	それぞれの分野から作業療法士の職域や可能性について考えましょう。関わりの中で視点を広げる力も身につけていきましょう。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野
授業科目名	作業療法総合演習 I-2	担当教官名	高橋 玲
対象学生	1 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	医療用語、人体の構造と生理機能、疾病の成り立ち、病態		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 正常な人体の構造と機能を理解し、それらに異常生じるメカニズムを理解する。</p> <p><b>到達目標</b> 医学的内容を理解するためのツール、すなわち医学的知識の導入に必要な基本的要素を説明できる。さらに、からだの異常や疾患を理解するのに必要な知識とメカニズムを説明できる。</p> <p><b>実務者経験</b> 同志社女子大学薬学部教授、京都大学医学部非常勤講師、愛媛大学医学部非常勤講師：機能形態学・病理学の授業担当歴30年、病理専門医、細胞診専門医、臨床検査専門医として医療に携わっている。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション ・からだの成り立ちと生体反応 ①</li> <li>2 からだの成り立ちと生体反応 ②</li> <li>3 からだの成り立ちと生体反応 ③</li> <li>4 呼吸器系の成り立ちとその異常 ①</li> <li>5 呼吸器系の成り立ちとその異常 ②</li> <li>6 呼吸器系の成り立ちとその異常 ③</li> <li>7 循環器系の成り立ちとその異常 ①</li> <li>8 循環器系の成り立ちとその異常 ②</li> <li>9 循環器系の成り立ちとその異常 ③</li> <li>10 消化器系の成り立ちとその異常 ①</li> <li>11 消化器系の成り立ちとその異常 ②</li> <li>12 消化器系の成り立ちとその異常 ③</li> <li>13 泌尿生殖器系の成り立ちとその異常①</li> <li>14 泌尿生殖器系の成り立ちとその異常②</li> <li>15 まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	[レポート提出]各回の授業課題を各自で予習してから授業を受ける。		
教科書・教材等	標準理学療法学・作業療法学①解剖学②生理学(医学書院) Dr.レイの病理学講義(金芳堂)		
授業の形式 教育機器の活用	演 習 視聴覚機器・PC		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	医学用語が多く出てきます。あらかじめ専門用語や予習課題内容を予習してから授業に臨み、理解度を高めてください。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	作業療法評価学 I-1	担当教官名	加藤 孝幸・安田 育生
対象学生	1 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	作業療法と評価 評価の意義 評価の種類		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 作業療法での評価の目的と意義、最も多用されている評価法を習得します。</p> <p><b>到達目標</b> ①作業療法における評価の意義を説明できる ②作業療法の評価の目的と手段について具体的に述べられる ③評価の手段と用いられる尺度を関連づけることができる</p> <p><b>実務者経験</b> 2010年 作業療法士免許取得 2010年 回復期リハビリテーション病院にて14年間勤務 2023年 京都医健専門学校に専任教員として入職 回復期病院では脳血管疾患の患者様を中心に退院支援まで包括的な関りを経験 2022年 リハビリテーション医学会発表 2023年 米国神経学会誌に論文発表</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション・評価の基礎</li> <li>2 領域共通の評価:面接法・観察法</li> <li>3 領域共通の評価:意識の評価・バイタルサイン</li> <li>4 領域共通の評価:意識の評価・バイタルサイン</li> <li>5 領域共通の評価:形態測定</li> <li>6 領域共通の評価:形態測定</li> <li>7 領域共通の評価:反射検査</li> <li>8 領域共通の評価:反射検査</li> <li>9 中間まとめ</li> <li>10 領域共通の評価:関節可動域測定</li> <li>11 領域共通の評価:関節可動域測定(肩関節)</li> <li>12 領域共通の評価:徒手筋力検査</li> <li>13 領域共通の評価:徒手筋力検査(肩関節)</li> <li>14 まとめ①</li> <li>15 まとめ②</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	講義中に整理が出来るように簡単には教科書に目をとおしておく		
教科書・教材等	作業療法評価学・改訂第3版-医学書院		
授業の形式 教育機器の活用	講 義 視聴覚機器使用		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法を実践する上で、対象者の評価は必要不可欠です。評価の基礎知識をなる部分を1年時には習得し、2年次、3年次における理論の理解から治療に結び付け評価へと繋がるよう講義展開をおこないます。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	作業療法評価学 I-2	担当教官名	加藤 孝幸・安田 育生
対象学生	1 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	評価の理解 環境の調整		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 主に身体障害分野で多用する評価法の知識と方法を実践を通して習得します。</p> <p>到達目標 ①作業療法評価を整理することが出来る ②適切に評価を選択することが出来る ③評価ノートを作成。ポイントをまとめることが出来る</p> <p>実務者経験 2010年 作業療法士免許取得 2010年 回復期リハビリテーション病院にて14年間勤務 2023年 京都医健専門学校に専任教員として入職 回復期病院では脳血管疾患の患者様を中心に退院支援まで包括的な関りを経験 2022年 リハビリテーション医学会発表 2023年 米国神経学会誌に論文発表</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション・評価の基礎</li> <li>2 領域共通の評価:面接法・観察法</li> <li>3 領域共通の評価:意識の評価・バイタルサイン</li> <li>4 領域共通の評価:意識の評価・バイタルサイン</li> <li>5 領域共通の評価:形態測定</li> <li>6 領域共通の評価:形態測定</li> <li>7 領域共通の評価:反射検査</li> <li>8 領域共通の評価:反射検査</li> <li>9 中間まとめ</li> <li>10 領域共通の評価:関節可動域測定</li> <li>11 領域共通の評価:関節可動域測定(肩関節)</li> <li>12 領域共通の評価:徒手筋力検査</li> <li>13 領域共通の評価:徒手筋力検査(肩関節)</li> <li>14 まとめ①</li> <li>15 まとめ②</li> <li>16 実技試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	実技を円滑に進めるために、担当者は授業前までに準備をしておく		
教科書・教材等	作業療法評価学・改訂第3版 医学書院 著:能登真一ら、 リハビリテーション基礎評価学・第2版、羊土社 著:潮美泰蔵ら PT・OTのための臨床技能とOSCE【第2版】 金原出版 才藤栄一ら		
授業の形式 教育機器の活用	実技 パソコン プロジェクター ゴニオメーター スケール 打腱器など		
成績評価の方法	パフォーマンス評価(ルーブリック評価) 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法を実践する上で、対象者の評価は必要不可欠です。評価の基礎知識をなる部分を1年時には習得し、2年次、3年次における理論の理解から治療に結び付く評価へと繋がるよう講義展開をおこないます。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	人間関係論	担当教官名	辻井 智
対象学生	1 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	人間関係 コミュニケーション 自己 集団		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 人間関係の基本概念や自己認識と協調関係等について習得します</p> <p>到達目標 社会人としてのマナー、コミュニケーションを理解し、実施できる臨床で役立つマナー、コミュニケーションを理解できる</p> <p>実務者経験 作業療法士として一般病院・老人保健施設・訪問リハビリテーション・住宅改修など、臨床から在宅指導まで経験。 また、施設長としてリハビリテーション関連施設の管理運営を行ってきた。 資格:作業療法士・介護支援専門員・福祉用具プランナー</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション、人間関係とは</li> <li>2 対人認知</li> <li>3 パーソナリティ</li> <li>4 コミュニケーションとチャネル</li> <li>5 感情</li> <li>6 葛藤と欲求不満</li> <li>7 ストレス</li> <li>8 援助行動・援助要請</li> <li>9 人間関係の理解</li> <li>10 カウンセリング</li> <li>11 モチベーション</li> <li>12 チームとリーダーシップ</li> <li>13 コーチング</li> <li>14 集団</li> <li>15 人間関係を難しくする障害／まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	配布資料の復習		
教科書・教材等	配布資料、メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論		
授業の形式 教育機器の活用	講義 パソコン プロジェクター		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	人間関係は、自分自身がその時々々の環境・立場により、求められたり働きかけたりする内容が異なります。自分自身を観察し、これからの行動へ役立ててください。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	人間発達学	担当教官名	富松 衛
対象学生	1 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	姿勢コントロール 身体的発達 運動発達 心理的発達		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 受胎から発生過程と各器官の発達の関連性などを習得します。</p> <p>到達目標 ①人間発達学の定義、関連用語を知り人間発達学の意義を説明できる ②胎児期からの発達の流れが理解できる</p> <p>実務者経験 2016年に作業療法士国家資格取得。作業療法士として、病院、就労継続支援B型、生活介護、放課後等デイサービス等の臨床を経験。公的機関・学校機関と協力し、社会生活への適応を支援する業務に従事。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 発達概論</li> <li>2 胎児期、乳児期</li> <li>3 幼児期の発達</li> <li>4 学童期の発達、発達障害の基礎</li> <li>5 発達障害の評価と治療</li> <li>6 遊びの評価と実際</li> <li>7 脳性麻痺の基礎</li> <li>8 まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	授業当日か翌日中に復習をしましょう		
教科書・教材等	「イラストでわかる人間発達学」 医歯薬出版株式会社		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器利用		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法士として、どの分野でも必要な知識になります。初めて聞く単語も多い為、予習・復習を行いましょう。 国家試験、臨床の知識に活かしていけるように共に学んでいきましょう。		



令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	文章の理解と表現Ⅱ	担当教官名	山田 涼子
対象学生	1 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	言語化、コミュニケーション力、論理的思考、視野拡大		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 文章を読み解く・まとめる・作文するためのポイントを学びます。</p> <p>到達目標 ①言葉を駆使し、自らの想いや考えを他者に伝える能力を習得する。 ②価値観の多様性を知り、多角的な物の見方を身につけて視野を広げる。</p> <p>実務者経験 25年以上、ライター・編集者として活動。取材を通して得たヒアリング力・洞察力・観察力・文章作成力を活かし、2009年から大学・専門学校・高等学校にて現代文・小論文などの指導を担当。社会人を対象としたビジネスライティング講座の講師も務める。「自己と向き合い、自らの想いや考えを言語化して伝え、他者と共有すること」の重要性を問う指導を行う。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 夏休み課題:動画発表</li> <li>2 チーム貢献について</li> <li>3 ゲストⅣ</li> <li>4 チーム貢献について②</li> <li>5 ニューノーマルの考察</li> <li>6 ニューノーマルの考察②</li> <li>7 ゲストⅤ</li> <li>8 ロジカルシンキング</li> <li>9 ロジカルシンキング②</li> <li>10 ロジカルシンキング③</li> <li>11 ロジカルシンキング④</li> <li>12 プレーンストーミング</li> <li>13 ゲストⅥ</li> <li>14 ゲストⅥ</li> <li>15 後期振り返り</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用テキストの予習復習(毎回小テストを実施)</li> <li>・日常生活における言葉の意味調べの習慣化</li> <li>・自らの意見の明確化・言語化</li> </ul>		
教科書・教材等	「入学前から学べる！作業療法士のための漢字・熟語」		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚教材		
成績評価の方法	定期試験 70% / 平常点(小テストの成績、課題提出率、課題内容) 30%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	<p>作業療法士を目指す上で、カウンセリングやリハビリテーションを通じた患者や家族とのコミュニケーションは必須です。また、医師をはじめとする周囲の医療従事者と円滑なチーム医療に取り組むためにも、自己発信力・情報伝達力・傾聴力などが求められます。本講義では、国家試験に対応する基礎的言語力はもちろん、様々な演習を通して「想いが伝わる」ために必要な総合的文章力の向上を目指します。「伝わらない」のは「伝えてない」ことを同だと肝に銘じて、相互に「伝わる」努力(観察、思いやり、譲り合い等)を常に心掛けてください。</p>		

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	臨床心理学	担当教官名	住友 春美
対象学生	1 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	精神障害 精神障害とライフサイクル 精神療法		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 対象者の状況を理解・対応するポイントを心理学的観点から学びます。</p> <p>到達目標 ①精神における疾患の症状と治療について理解し、説明できる ②ライフサイクルにおける精神障害・心理社会的問題について理解し、説明できる。 ③精神療法について、その治療について理解し、説明できる</p> <p>実務者経験 臨床経験24年。大学の付属病院・精神神経科を経て、精神科・心療内科病院に所属。その後、現在、主として神経内科・精神科診療所に所属。心理学、臨床心理学に基づき、心身に疾患を有する患者の心理面を対象として、心理検査、心理面接、集団精神療法にて疾患・病態のアセスメント、治療を行っている。その他、発達・能力・コミュニケーションに問題を有する身体障害者・知的障害者を対象に発達・能力をアセスメントし、その支援に関わる人にコンサルテーションを行っている</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 作業療法と臨床心理学の関わり、精神的健康、臨床心理学概論(歴史、現状)</li> <li>2 心理検査、神経症とDSM診断体系、不安障害</li> <li>3 身体表現性障害、解離性障害、適応障害</li> <li>4 パーソナリティ障害、摂食障害、統合失調症</li> <li>5 思考障害、依存症、気分障害、てんかん</li> <li>6 睡眠障害、性障害、子どもの精神障害とその周辺</li> <li>7 老化とその障害、精神障害とライフサイクル</li> <li>8 精神療法 まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	心理学で学んだ、感覚、記憶、学習、発達について、再度、併わせて理解を深めておく。臨床心理学で学んだ疾患名と、その症状を理解しておく。各精神療法と、その内容を理解しておく。予習・復習を行うこと。		
教科書・教材等	医学書院 標準理学療法学・作業療法学(専門基礎分野) 臨床心理学		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	傷ついた人と関わることの多い作業療法士を目指すにあたって、人の心理的側面にある生きにくさを理解するため、臨床心理学の知識は必要となります。本講義では国家試験に対応するための知識はもちろん、臨床のイメージが膨らむよう、臨床で関わるであろう症例についても具体的にお話したいと考えています。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	地域作業療法学 I	担当教官名	安田 育生
対象学生	1 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	作業療法士の役割 地域医療 連携		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 地域リハビリテーションの基本概念と制度、関連職種などについて習得します。</p> <p>到達目標 ①社会生活資源を理解し説明できる ②地域での作業療法士の役割について説明できる</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 リハビリ専門病院にて回復期・慢性期の病棟に勤務 2019年 クリニックに併設した訪問リハビリテーション部に勤務 2021年 精神科の訪問看護ステーションに勤務 2023年 京都医健専門学校に勤務</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域作業療法の基盤と背景—地域リハビリテーションの流れ</li> <li>2 介護保険に関わるサービスについて</li> <li>3 地域作業療法の実践の場を知る—病院</li> <li>4 地域作業療法の実践の場を知る—老健・特養</li> <li>5 地域作業療法の実践の場を知る—デイケア・デイサービス</li> <li>6 地域作業療法の実践の場を知る—訪問看護・訪問リハビリ</li> <li>7 地域作業療法の実践の場を知る—小児分野</li> <li>8 まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	事前に教科書を読み内容を把握		
教科書・教材等	標準作業療法学専門分野 地域作業療法第4版		
授業の形式 教育機器の活用	演習 視聴覚機器利用		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	授業に関係のない私語や行為を慎んで、周りに迷惑にならないよう授業に臨んで下さい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	リハビリテーション医学	担当教官名	西林 賢裕
対象学生	1 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	リハビリテーション 領域 病期		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 リハビリテーションの基本概念とリハビリテーションの領域など一般的なリハビリテーションの流れなどを習得します。</p> <p>到達目標 ①リハビリテーションの領域の説明ができる。 ②医学的リハビリテーションの分野が理解できる。 ③疾患に関してのリハビリテーションの留意点が説明ができる。</p> <p>実務者経験 2006年 作業療法士免許取得 2006年 平成医療福祉グループ(地域領域・回復期・養成校) 2016年 滋慶学園グループ(鳥取校・京都校) 2018年 長期講習修了 臨床時には地域医療を中心に様々な疾患に対し関わり、養成校所属時は産学官連携にて障がい者スポーツに対して取り組み 2020年次の作業療法学会にて活動報告実施。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 脳血管</li> <li>3 神経筋疾患</li> <li>4 末梢循環器疾患</li> <li>5 整形疾患</li> <li>6 内部疾患・悪性腫瘍</li> <li>7 高齢者のリハビリテーション</li> <li>8 まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	教科書を読むなどの予習をして下さい		
教科書・教材等	教科書:リハビリテーション医学テキスト・配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義 パソコン、プロジェクター		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	リハビリテーションとはいったい何をすることなのかを学びましょう。どのような領域があ、どのような方法で対象者の方にアプローチされているのかをグループ学習も取り入れながら考えます		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	リハビリテーション概論	担当教官名	西林 賢裕
対象学生	1 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	医療 社会福祉		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 リハビリテーションの基本概念と関わる職種の概要などを習得します。</p> <p>到達目標 ①リハビリテーションの流れについて説明できる ②リハビリテーションの基本的な考え方を理解し説明できる。 ③医学的リハビリテーションの分野を理解し、説明ができる。</p> <p>実務者経験 2006年 作業療法士免許取得 2006年 平成医療福祉グループ(地域領域・回復期・養成校) 2016年 滋慶学園グループ(鳥取校・京都校) 2018年 長期講習修了 臨床時には地域医療を中心に様々な疾患に対し関わり、養成校所属時は産学官連携にて障がい者スポーツに対して取り組み 2020年次の作業療法学会にて活動報告実施。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション リハビリテーションの歴史と定義</li> <li>2 障害とその分類(ICIDH)(ICF) リハビリテーションの分野</li> <li>3 医療従事者とチーム 関係法規と保健医療福祉行政</li> <li>4 障害の評価①</li> <li>5 障害の評価②</li> <li>6 臨床検査</li> <li>7 治療</li> <li>8 まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	講義時に配布するレジメは、講義後に復習する事		
教科書・教材等	リハビリテーション医学テキスト		
授業の形式 教育機器の活用	講義 パソコン、プロジェクター		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法士が活躍する領域を知り、主に医療と福祉のリハビリテーションの役割について理解を深めてください。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	解剖生理学 I -1(内科系)	担当教官名	森嶋 祥之
対象学生	1 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	循環、呼吸		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 生命現象、血液、循環器系、呼吸器系について学ぶ</p> <p>到達目標 専門科目の基礎となる生体の機能に関する理解</p> <p>実務者経験 1978年 臨床検査技師・薬剤師国家資格取得                      1978年～2015年 近畿大学病院 中央臨床検査部                      2010年～2015年 近畿大学病院 輸血・細胞治療センター兼務                      2015年～2017年 近畿大学病院 薬剤部                      主な著書:薬剤師のための基礎からの検査値の読み方 第2版</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション・総論</li> <li>2 生命現象と人体①身体の階層性、生命現象</li> <li>3 生命現象と人体②体液、ホメオスタシス</li> <li>4 血液①血液の組成と機能</li> <li>5 血液②赤血球、白血球</li> <li>6 血液③血小板</li> <li>7 血液④血漿、血液型</li> <li>8 小テスト</li> <li>9 心臓と循環①血液の循環、刺激電動系</li> <li>10 心臓と循環②血液の拍と血圧</li> <li>11 心臓と循環③心機能曲線、血圧の調節</li> <li>12 心臓と循環④静脈還流、臓器循環</li> <li>13 呼吸とガスの運搬①外呼吸・内呼吸、気道・肺胞、呼吸運動</li> <li>14 呼吸とガスの運搬②ガス交換とガス運搬、呼吸の調節病的呼吸</li> <li>15 まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	教科書の該当部分を通読		
教科書・教材等	教科書(標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学第6版) パワーポイント		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器使用		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	指定の教科書に加え、毎回学習資料を配布。グループ学習を通じて理解を促す授業もある。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作 業 療 法 科	授 業 科 目 区 分(基 専)	専 門 基 礎 分 野
授 業 科 目 名	解 剖 生 理 学Ⅱ-1(神 経 系)	担 当 教 官 名	糟 谷 圭 吾
対 象 学 生	1 年	履 修 学 期	前 期
必 修・選 択 の 別	必 修	授 業 回 数	15 回
授 業 の キー ワード	神 経 系 の 構 成 脳 室 系 神 経 系 の 発 生 中 枢 神 経 系 脳 の 高 次 機 能 興 奮 の 発 生、伝 導・伝 達		
授 業 の 概 要 及 び 到 達 目 標	<p><b>授業の概要</b> 作業療法学の基礎となる人体の生命現象と正常構造およびその機能の理解は疾患の治療の上で必要不可欠である。本講義では下記に示す内容を到達目標に講義を進める。特に中枢神経系について学ぶ。</p> <p><b>到達目標</b> ①生命維持にかかせない概念を習得し、本授業終了時には人体の構造・機能について説明ができるようになる。 ②当該学習項目に関する領域の国家試験問題について正答を得ることができる。</p> <p><b>実務者経験</b> 1994～1996 歯科医療研修振興財団 臨床研修課程を収める。 1996～歯科医師として臨床業務に従事。 1998～2001歯学部付属病院に所属する。主業務として中央手術室における全身麻酔管理および外来病棟(有病者歯科)における全身管理業務に従事。</p>		
講 義 計 画・内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション/神経系の区分</li> <li>2 神経系の構成 神経組織</li> <li>3 中枢神経系の構成 末梢神経系の構成</li> <li>4 髄膜と脳室系</li> <li>5 神経系の発生 脊髄、脳、末梢神経系</li> <li>6 脊髄の外形と横断面</li> <li>7 延髄、橋</li> <li>8 中脳、網様体</li> <li>9 小脳の外形と区分</li> <li>10 小脳の内部構造</li> <li>11 間脳</li> <li>12 大脳半球(終脳)</li> <li>13 脳の高次機能</li> <li>14 上行性神経路</li> <li>15 下行性神経路</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準 備 学 習	解剖学的知識の暗記、当該学習項目と関連する生理学、運動学等の関連領域の概念		
教 科 書・教 材 等	「解剖学」改訂 第5版 医学書院 「生理学」改訂 第6版 医学書院		
授 業 の 形 式 教 育 機 器 の 活 用	講 義 視 聴 覚 機 器 利 用		
成 績 評 価 の 方 法	定期テスト(100%) 定期テストにて知識の到達評価を行う。		
担 当 教 官 か ら (履 修 に あ た っ て の 留 意 点)	正常な人体の構造・機能に関する理解は作業療法士として必須項目である。ともすれば、暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して欲しい。毎回の講義が膨大のものとなるため、予習、復習は必須条件である。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作 業 療 法 科	授 業 科 目 区 分(基専)	専 門 基 礎 分 野
授 業 科 目 名	解剖生理学Ⅲ-1(運動系)	担 当 教 官 名	糟 谷 圭 吾
対 象 学 生	1 年	履 修 学 期	前 期
必 修・選 択 の 別	必 修	授 業 回 数	15 回
授 業 の キー ワード	骨の形態 骨の構造と機能 リモデリング 骨の連結 関節の構造と機能		
授 業 の 概 要 及 び 到 達 目 標	<p><b>授業の概要</b> 作業療法学の基礎となる人体の生命現象と正常構造およびその機能の理解は疾患の治療の上で必要不可欠である。本講義では下記に示す内容を到達目標に講義を進める。</p> <p><b>到達目標</b> ①生命維持にかかせない概念を習得し、本授業終了時には人体の構造・機能について説明ができるようになる。 ②当該学習項目に関する領域の国家試験問題について正答を得る事ができる。</p> <p><b>実務者経験</b> 1994～1996 歯科医療研修振興財団 臨床研修課程を収める。 1996～歯科医師として臨床業務に従事。 1998～2001歯学部付属病院に所属する。主業務として中央手術室における全身麻酔管理および外来病棟(有病者歯科)における全身管理業務に従事。</p>		
講 義 計 画・内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション/骨格総論 骨の形態</li> <li>2 骨の構造 血管と神経</li> <li>3 骨の機能と骨の発生</li> <li>4 骨のリモデリング</li> <li>5 骨格各論 頭蓋</li> <li>6 脊柱</li> <li>7 胸郭</li> <li>8 上肢の骨 ①</li> <li>9 上肢の骨 ②</li> <li>10 下肢の骨 ①</li> <li>11 下肢の骨 ②</li> <li>12 骨の連結</li> <li>13 関節の構造と機能</li> <li>14 頭蓋、脊柱、胸郭の連結</li> <li>15 上肢・下肢の連結/まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準 備 学 習	解剖学的知識、生理学、運動学等の関連領域の概念の先行予習が必要である。		
教 科 書・教 材 等	「解剖学」改訂 第5版 医学書院 「生理学」改訂 第6版 医学書院		
授 業 の 形 式 教 育 機 器 の 活 用	講 義 骨模型 視聴覚機器利用		
成 績 評 価 の 方 法	定期テスト(100%) 定期テストにて知識の到達評価を行う。		
担 当 教 官 か ら (履 修 に あ た っ て の 留 意 点)	正常な人体の構造・機能に関する理解は作業療法士として必須項目である。ともすれば、暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して欲しい。毎回の講義が膨大のものとなるため、予習、復習は必須条件である。		



令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	基礎作業学Ⅰ	担当教官名	辻井 智・加藤 孝幸
対象学生	1 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	創作活動、作業の分類、作業分析、作業科学		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 作業療法の基本的な思考過程を身近な作業活動を通して習得します</p> <p>到達目標 ①作業が治療法として成り立つ要件や根拠を理解し、説明できる。 ②作業療法の理論と作業分類について理解し、説明できる。</p> <p>実務者経験 作業療法士として一般病院・老人保健施設・訪問リハビリテーション・住宅改修など、臨床から在宅指導まで経験。 また、施設長としてリハビリテーション関連施設の管理運営を行ってきた。 資格:作業療法士・介護支援専門員・福祉用具プランナー</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション・基礎作業学とは何か</li> <li>2 作業療法と作業について</li> <li>3 作業の意味(感情・生活の構造化)</li> <li>4 作業の意味(健康との関連性・作業の類型化)</li> <li>5 作業療法の展開(作業の適用と分類・作業分析)</li> <li>6 上肢作業</li> <li>7 上肢作業(作業分析)</li> <li>8 物品を使った上肢作業</li> <li>9 物品を使った上肢作業(作業分析)</li> <li>10 作業遂行分析の理論と方法</li> <li>11 作業的存在</li> <li>12 作業とライフステージ①</li> <li>13 作業とライフステージ②</li> <li>14 作業とライフステージ③</li> <li>15 作業とライフステージ④・まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	配布資料の復習		
教科書・教材等	標準作業療法学 基礎作業学(医学書院)		
授業の形式 教育機器の活用	演習 パソコン プロジェクター		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業活動を通して、「楽しむこと」「試行錯誤すること」「作業過程でどのような身体・精神機能が用いられるか考えること」「作業過程をどう対象者に提供できるか考えること」を期待します。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	健康科学	担当教官名	辻井 智
対象学生	1 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	健康管理、生涯スポーツ		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 健康の定義、健康を維持するための条件、方法等について習得します。</p> <p>到達目標 ①日常生活活動と身近なスポーツやレクリエーションの種目の類似点を理解する。 ②気軽にできる体操や余暇活動を理解する。</p> <p>実務者経験 作業療法士として一般病院・老人保健施設・訪問リハビリテーション・住宅改修など、臨床から在宅指導まで経験。 また、施設長としてリハビリテーション関連施設の管理運営を行ってきた。 資格：作業療法士・介護支援専門員・福祉用具プランナー</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション、健康問題と健康増進</li> <li>2 健康管理</li> <li>3 運動の生理学・生化学的基礎</li> <li>4 健康・体力づくりのための運動処方</li> <li>5 ウェイトコントロール</li> <li>6 生涯スポーツの必要性</li> <li>7 運動・スポーツ活動と安全</li> <li>8 体力測定方法と評価、まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	配布資料の復習		
教科書・教材等	スポーツ・健康科学概論テキスト、配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	演習 パソコン、プロジェクター		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	運動を治療手段へ応用するためには、実践できることが条件です。いろいろな活動を用いることができるように、楽しんで参加してください。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	健康科学演習	担当教官名	辻井 智
対象学生	1 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	健康、介護予防、運動指導、環境		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 作業療法現場で健康を維持する体の使い方等を習得します。</p> <p>到達目標 ①演習へ参加し、主な種目を体験する。 ②リーダーとして進行することを体験する。</p> <p>実務者経験 作業療法士として一般病院・老人保健施設・訪問リハビリテーション・住宅改修など、臨床から在宅指導まで経験。 また、施設長としてリハビリテーション関連施設の管理運営、レクリエーションの企画・リーダー役を経験した。 資格：作業療法士・介護支援専門員・福祉用具プランナー</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション、介護予防</li> <li>2 転倒予防運動</li> <li>3 認知症予防運動</li> <li>4 肥満者へ運動指導</li> <li>5 関節痛のある方へ運動指導</li> <li>6 筋力低下者への運動指導</li> <li>7 健康チェック</li> <li>8 環境と健康、まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	配布資料の復習		
教科書・教材等	スポーツ・健康科学概論テキスト、配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	演習 パソコン、プロジェクター		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	運動を治療手段へ応用するためには、実践できることが条件です。いろいろな活動を用いることができるように、楽しんで参加してください。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	作業療法概論	担当教官名	谷村 浩子、他
対象学生	1 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	作業療法、分野と役割、各教員の専門性		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 日本の作業療法の目的・立場・役割を理解して、これから4年間で学ぶ過程と目標を理解します。</p> <p><b>到達目標</b> ①作業療法の概要を説明できる。 ②作業療法士の役割を説明できる。 ③作業の意味と目的を説明できる。</p> <p><b>実務者経験</b> 1985年作業療法士免取得、専門作業療法士(手外科)2010認定ハンドセラピスト(2009)、教育学修士(2023) 1985年大阪医科大学付属病院入職(2012年まで) 臨床現場では整形外科疾患、脳外科、神経内科、癌など多岐にわたる症例の診療を経験。2012年より現職。 2004年 第16回日本ハンドセラピ学会 学術集會会長 2017年 第32回日本RAのリハビリ研究会 学術集會会長 2018年 第6回京都府作業療法学会 学術集會会長 2021年 第9回中部日本ハンドセラピ研究会学術集會会長</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション・作業の意味</li> <li>2 作業療法の歴史、理学療法士及び作業療法士法について</li> <li>3 作業療法の原理と関連する予備知識</li> <li>4 、作業療法士に求められる資質と倫理</li> <li>5 作業療法士の実践現場と働き方</li> <li>6 作業の治療的適用</li> <li>7 日本作業療法士協会とその役割・世界作業療法士連盟とその役割</li> <li>8 作業療法の実践課程</li> <li>9 身体障害急性期分野における作業療法実践(岩井)</li> <li>10 身体障害分野回復期における作業療法実践(加藤)</li> <li>11 身体障害分野生活期における作業療法実践(西林)</li> <li>12 発達過程分野における作業療法実践(未定)</li> <li>13 高齢期分野における作業療法実践(堂岡)</li> <li>14 精神障害分野における作業療法実践(安田)</li> <li>15 作業療法士になるための過程・まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	特に必要ありません。		
教科書・教材等	配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義 スライド・プロジェクター		
成績評価の方法	定期試験100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法士になるためには知識の習得だけでは不可能です。自分から発言して行動することが必要なので、講義だけでなくグループでの討議など自身の考えを発信でき人の意見も取り入れられるようになります。積極的に授業に参加してください。		

令和 6 年度京都医健専門学校授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	情報処理	担当教官名	深津 富栄
対象学生	1 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	Word Excel PowerPoint タイピング アクセシビリティ プレゼンテーション キャリアデザイン		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 電子カルテ作成・発表のためWord・Excel・PowerPointの使用法を学びます。</p> <p><b>到達目標</b></p> <p>①Wordを使用し、簡潔で説得力のある質の高い文書が作成できる。                  ②Excelを使用し、効率の良いデータの処理分析、目的に応じた適切な資料作成ができる。                  ③PowerPointを使用し、見やすく説得力のあるスライドを作成する。作成したスライドを使って、内容をわかりやすく発表することができる。                  ④就職後のOA処理業務に役立てることができる。</p> <p><b>実務者経験</b></p> <p>Microsoft オフィシャルトレーナー・IT系国家資格を取得し、ICT企業にてコンテンツ制作・システム管理・IT技術研修を担当。                  2000年より大学・滋慶学園で情報処理・MOS対策授業の教鞭を取り、約1万人近くを合格に導いています。</p>		
講義計画・内容	<p>1 オリエンテーション Windows基礎 Word①</p> <p>2 Word② 小テスト①</p> <p>3 Word③</p> <p>4 Word④</p> <p>5 Excel①</p> <p>6 Excel② 小テスト②</p> <p>7 Excel③</p> <p>8 Excel④</p> <p>9 Excel⑤ Excel課題</p> <p>10 PowerPoint①</p> <p>11 PowerPoint②</p> <p>12 PowerPoint③</p> <p>13 PowerPoint④</p> <p>14 PowerPoint⑤</p> <p>15 PowerPoint⑥ プレゼンテーション発表会 (PowerPoint課題)</p> <p>16 定期試験・試験解説</p>		
準備学習	パソコンの基本操作(入力・保存方法など)を確認しておいてください。		
教科書・教材等	よくわかる Word2021 & Excel2021 & PowerPoint2021 FOM出版		
授業の形式 教育機器の活用	講義 1回目授業持ち物:テキスト 筆記用具		
成績評価の方法	定期試験:70% 小テスト・課題:Word、Excel、PowerPoint(作成・プレゼンテーション発表):30%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	Word・Excel・PowerPointは実務で必須のアプリケーションソフトです。適正かつ効率的に使いこなせるよう、スキルを身につけていきます。またタイピングも取り入れ、一般社会のOA処理業務でも効率的で質の良い資料作成が出来るように実習していきます。自身で効率よく操作が出来るよう積極的に取り組んでください。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	心理学	担当教官名	住友 春美
対象学生	1 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	感覚・知覚、記憶、知能、学習、感情、欲求・適応、パーソナリティ、発達		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 心理学の基本概念や青年・障がい者心理について習得します。</p> <p><b>到達目標</b> ①感覚・知覚、記憶、思考・判断、感情、性格、さらにその発達と社会的関係などの心的過程について理解し、説明できる。 ②心の作用の結果としてあらわれる反応や行動、その反応や刺激を引き起こす刺激や環境について理解し、説明できる。 ③ライフサイクルにおける心理的特徴・心理的問題を理解し、説明できる。</p> <p><b>実務者経験</b> 臨床経験24年。大学の付属病院・精神神経科を経て、精神科・心療内科・神経内科、福祉施設に所属。心理学、臨床心理学に基づき、心身に疾患を有する患者、発達・能力・コミュニケーションに問題を有する障害者を対象に、心理検査、心理面接、集団精神療法にて、疾患・病態のアセスメント、治療を、また、その支援者にコンサルテーションを行っている。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション・心理学とは</li> <li>2 感覚・知覚①</li> <li>3 感覚・知覚②</li> <li>4 記憶と忘却①</li> <li>5 記憶と忘却②</li> <li>6 知能①</li> <li>7 知能②</li> <li>8 学習</li> <li>9 感情・情動・気分</li> <li>10 欲求・適応・不適応①</li> <li>11 欲求・適応・不適応②</li> <li>12 パーソナリティ</li> <li>13 社会と集団</li> <li>14 発達</li> <li>15 ライフサイクルと心理的特徴・心理的問題・まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	心理学で学ぶ心的過程について、その内容を理解しておく。予習・復習を行う。		
教科書・教材等	医学書院 系統看護学講座 基礎分野 心理学		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法士を目指すにあたり、人間一般の心的過程についての基本的知識は不可欠です。自己理解と対応について知り、援助する相手を理解し、適切に思いを巡らせる事を目指し、お話しします。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	文章の理解と表現 I	担当教官名	山田涼子
対象学生	1 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	インプット&アウトプット、思考・判断、共有・共感		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 用語の読み方・意味、文章を理解するためのポイント等を学びます。</p> <p>到達目標</p> <p>①一般教養レベルから医学用語まで、国家試験対策としての語彙について読み・書きのスキルおよび意味を習得する。 ②医療や社会の問題について考え、理解を深める。</p> <p>25年以上、ライター・編集者として活動。取材を通して得たヒアリング力・洞察力・観察力・文章作成力を活かし、2009年から大学・専門学校・高等学校にて現代文・小論文などの指導を担当。社会人を対象としたビジネスライティング講座の講師も務める。「自己と向き合い、自らの想いや考えを言語化して伝え、他者と共有すること」の重要性を問う指導を行う。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 自己分析①</li> <li>2 自己分析②</li> <li>3 自己紹介</li> <li>4 ゲスト登壇 I</li> <li>5 他人の視座を学ぶ: 動画視聴①</li> <li>6 ゲスト登壇 II</li> <li>7 他人の視座を学ぶ: 動画視聴②</li> <li>8 他人の視座を学ぶ: 動画視聴③</li> <li>9 他人の視座を学ぶ: 動画視聴④</li> <li>10 社会問題の考察: QOLについて</li> <li>11 社会問題の考察: 終活について</li> <li>12 ゲスト III</li> <li>13 祇園祭について知る</li> <li>14 他己紹介</li> <li>15 前期振り返り</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	・使用テキストの予習復習(毎回小テストを実施)、時事問題に関心を持つ心掛け。		
教科書・教材等	「入学前から学べる! 作業療法士のための漢字・熟語」		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚教材		
成績評価の方法	定期試験70%/平常点(小テストの成績、課題提出率、課題内容)30%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	<p>作業療法士を目指す上で、カウンセリングやリハビリテーションを通じた患者や家族とのコミュニケーションは必須です。また、医師をはじめとする周囲の医療従事者と円滑なチーム医療に取り組むためにも、自己発信力・情報伝達力・傾聴力などが求められます。本講義では、国家試験に対応する基礎的言語力はもちろん、様々な演習を通して「想いが伝わる」ために必要な総合的文章力の向上を目指します。「伝わらない」のは「伝えてない」ことを同だと肝に銘じて、相互に「伝わる」努力(観察、思いやり、譲り合い等)を常に心掛けてください。</p>		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	その他
授業科目名	キャリア教育演習 I	担当教官名	堂岡 悠理
対象学生	1 年	履修学期	通 年
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	ホスピタリティ 立ち居振る舞い 基本姿勢 チームワーク		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 学校生活と学則、作業療法士に必要な礼儀、適切な報告・連絡・相談の方法、書類の書き方、基本的なコミュニケーション法について、体験を通じて習得します。</p> <p>到達目標 ①医療者を目指す学生としてふさわしい服装・挨拶・立ち居振る舞いができる。 ②自分に適した学習方法を習得することができる。 ③クラス内でコミュニケーションをとり協同することができる。</p> <p>実務者経験 2016年 京都医健専門学校卒業・作業療法士免許取得 2016年 臨床時には総合病院で主に急性期を担当。 また、地域包括ケア病棟での作業療法を経験し、 退院支援にも携わってきた。 2021年 京都医健専門学校専任教員</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 救命救急の意義について</li> <li>3 救命救急の実践</li> <li>4 整理・整頓・清潔・清掃・接遇について</li> <li>5 コミュニケーションスキル(他者理解・人間関係構築)</li> <li>6 ホスピタリティについて(発表)</li> <li>7 前期の目標設定 目標に向けての課題 アクションについて考える</li> <li>8 計画を立てる重要性について学ぶ</li> <li>9 前期の振り返り(復習・質疑応答・まとめ)</li> <li>10 学習の深め方について学ぶ① 自分に適した勉強方法を知る</li> <li>11 学習の深め方について学ぶ② クラスでの協同作業</li> <li>12 後期の目標設定 目標に向けての課題 アクションについて考える</li> <li>13 目標について状況を確認 行動の修正について考える</li> <li>14 チームで取り組む重要性について体験を通じて考える</li> <li>15 後期の振り返り(復習・質疑応答・まとめ)</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	医療職者をを目指す学生として普段から立ち居振る舞いについて意識して行動しましょう。また普段から目標と計画を立てるなど見通しを立てて学習しましょう。		
教科書・教材等	配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	演習 視聴覚機器		
成績評価の方法	レポート評価(50%) ホスピタリティ 試験(50%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	1年を通じて作業療法士としての職域や役割について学びましょう。また、クラスメイトと積極的に行動し、同じ目標に向かって協同するスキルを身につけましょう。		



令和 6 年度京都医健専門学校授業計画(シラバス)

学 科	作 業 療 法 科	授 業 科 目 区 分(基専)	専 門 分 野
授 業 科 目 名	身体機能治療学 I (中枢系)	担 当 教 官 名	加藤 孝幸
対 象 学 生	2 年	履 修 学 期	後 期
必 修・選 択 の 別	必 修	授 業 回 数	15 回
授 業 の キー ワード	脳卒中 各時期別リハビリテーションの実態(急性期・回復期・生活期) 時期別作業療法評価		
授 業 の 概 要 及 び 到 達 目 標	<p>授業概要 中枢神経(脳・脊髄)疾患の特徴、評価、治療の流れなどについて習得します。</p> <p>到達目標 ①中枢疾患における時期別リハビリテーションの目標と有効性の理解し説明ができる。 ②適切な評価や活動分析を学び解釈することができる。</p> <p>実務者経験 2010年 作業療法士免許取得 2010年 回復期リハビリテーション病院にて14年間勤務 2023年 京都医健専門学校に専任教員として入職 回復期病院では脳血管疾患の患者様を中心に退院支援まで包括的な関りを経験 2022年 リハビリテーション医学会発表 2023年 米国神経学会誌に論文発表</p>		
講 義 計 画・内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 脳卒中を知る(脳卒中の病態)</li> <li>3 脳の血管(脳動脈瘤と灌流領域)</li> <li>4 脳画像(CT、MRIの診方、医療英語)</li> <li>5 リスク管理(血圧、浮腫、意識障害)</li> <li>6 急性期リハビリテーション(急性期リハの目標と有効性)</li> <li>7 急性期リハビリテーション(全身状態の確認、ポジショニング)</li> <li>8 急性期リハビリテーション(急性期における作業療法)</li> <li>9 回復期リハビリテーション(回復期リハの目標と有効性)</li> <li>10 回復期リハビリテーション(基本動作分析)</li> <li>11 回復期リハビリテーション(日常生活動作、福祉用具、退院支援)</li> <li>12 生活期リハビリテーション(生活期リハの目標)</li> <li>13 生活期リハビリテーション(自助、互助、共助、公助支援)</li> <li>14 高次脳機能障害に対してのリハビリテーション(脳神経検査)</li> <li>15 まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準 備 学 習	事前に教科書を読み内容を把握		
教 科 書・教 材 等	脳卒中リハビリテーション(インターメディカ)		
授 業 の 形 式 教 育 機 器 の 活 用	講 義 視 聴 覚 機 器 利 用		
成 績 評 価 の 方 法	定期試験 100%		
担 当 教 官 か ら (履 修 に あ た っ て の 留 意 点)	臨床の現場においてよくみかける病態です。身体障害を持つ対象者の時期別実態を知り、適切な評価や治療、作業療法特性を活かして学びを深めていきます。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野
授業科目名	地域作業療法学Ⅱ	担当教官名	安田 育生
対象学生	2 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	作業療法士の役割 地域医療 連携		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 地域リハビリテーションの作業療法士の関わりについて習得します</p> <p>到達目標 ①生活構造の視点と地域作業療法について説明できる ②身近な地域をもとに地域作業療法の実践を説明できる</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 リハビリ専門病院にて回復期・慢性期の病棟に勤務 2019年 クリニックに併設した訪問リハビリテーション部に勤務 2021年 精神科の訪問看護ステーションに勤務 2023年 京都医健専門学校に勤務</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 地域での作業療法 その①</li> <li>2 情報収集</li> <li>3 評価</li> <li>4 プログラム立案</li> <li>5 グループディスカッション</li> <li>6 発表①</li> <li>7 発表②</li> <li>8 オリエンテーション 地域での作業療法 その②</li> <li>9 情報収集</li> <li>10 評価</li> <li>11 プログラム立案</li> <li>12 グループディスカッション</li> <li>13 発表①</li> <li>14 発表②</li> <li>15 まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	事前に教科書を読み内容を把握		
教科書・教材等	標準作業療法学専門分野 地域作業療法第3版		
授業の形式 教育機器の活用	講 義 視聴覚教材使用		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	授業に関係のない私語や行為を慎んで、周りに迷惑にならないよう授業に臨んで下さい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	画像診断学	担当教官名	岩井 有香
対象学生	2 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	脳血管疾患 骨関節疾患 内部疾患		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 画像の読影は作業療法士が適切な治療を行うために必要となる予後予測を立てる際に欠かせない知識です。脳血管障害、骨関節疾患はもちろん、循環器・呼吸器疾患の画像の診方について学びます。</p> <p><b>到達目標</b> ①脳のCT、MRI画像を読影でき、予後予測にいかすことができる。 ②骨折や関節症などのレントゲン画像やCTの読影ができ、予後予測・治療にいかすことができる。 ③循環器・呼吸器のレントゲン画像やMRIの読影し、病状の理解ができる。</p> <p><b>実務者経験</b> 2007年作業療法士国家資格取得 2007年医療法人和風会 千里リハビリテーション病院入職 2010年大阪医科大学附属病院(現:大阪医科薬科大学病院)入職 2023年より現職 臨床現場では、脳血管疾患、脳腫瘍、整形外科疾患、内部疾患などの多岐にわたる症例の診療に携わってきた。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション、脳画像の診方(正常)</li> <li>2 脳画像の診方(脳梗塞、脳出血)</li> <li>3 脳画像の診方(正常圧水頭症、硬膜外血腫)</li> <li>4 運動器の画像の診方</li> <li>5 骨折の画像(レントゲン、CT)</li> <li>6 関節症、RAの画像の診方</li> <li>7 循環器・呼吸器のX線画像、腹部のMRI画像</li> <li>8 総まとめ、国家試験問題演習</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	骨・脳・臓器の基礎知識と画像の予習、復習		
教科書・教材等	PT・OT基礎から学ぶ 画像の読み方 国試画像問題攻略 第3版 PT・OTのための画像の診方 第2版		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器使用、教科書、配布資料		
成績評価の方法	定期試験100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	今後の臨床業務で、対象者に根拠に基づいた作業療法を提供するために、画像を読影し症状・障害の予測を立てられるようになりましょう。そのためには、本授業の前に、習得済みの解剖学等の基礎的知識の予習が必須となります。		

令和 6 年度京都医健専門学校授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	救急医学	担当教官名	神納光一郎/金村 諭司
対象学生	2 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	8 回
授業のキーワード	チームアプローチ 医療 福祉 連携		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 作業療法士の活躍範囲が拡大しており、緊急を要する病態や疾患・外傷への適切な対応が必要とされています。本科目では前述の状態の基礎的な知識を学び、心肺蘇生・応急処置について学びます。</p> <p><b>到達目標</b> ①救急医療体制について説明できる ②救急病態生理(生体の機能的変化)について説明できる ③救急症候(自覚症状と他覚的所見)について説明できる ④心肺蘇生・応急処置の方法を説明できる</p> <p><b>実務者経験</b> 座学担当: 神納 光一郎 医師、救急医療に28年間従事する 実技担当: 金村 諭司 32年の消防経験(H7。救急救命士)</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション、救急医学を学ぶ意義 呼吸系(呼吸不全、低酸素症、呼吸困難)</li> <li>2 救急医学の基礎知識 循環系(ショック、循環不全、不整脈)</li> <li>3 救急医学の基礎知識 神経系(意識障害、麻痺、痙攣、頭痛)</li> <li>4 救急医学の基礎知識 外因性疾患(外傷、異物、中毒、環境障害)</li> <li>5 救急医療体制について</li> <li>6 応急処置・心肺蘇生の方法(演習) 心肺蘇生</li> <li>7 応急処置・心肺蘇生の方法(演習) 応急処置</li> <li>8 応急処置・心肺蘇生の方法(演習) 実技・まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	次回予定を伝えるので、その職種についてあらかじめ定義を調べておくこと。		
教科書・教材等	配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	演 習		
成績評価の方法	定期試験 50% 実技試験 50%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	自分の目の前の患者に急変が起こった時に、できるかぎり適切な処置ができるようになることを目指してください。緊急時に実際に行動できることが必要なので、実技を行います。指導に従って「やってみる」→「できる」ことを実践しましょう。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	研究法 I	担当教官名	谷村 浩子
対象学生	2 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	作業療法研究 倫理規定と手続き 献カード		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 作業療法に必要な研究の基礎を習得します</p> <p><b>到達目標</b> ①作業療法士が研究する意義を説明できる ②作業療法研究における倫理規定を説明できる ③作業療法に関連する文献を理解し、まとめることができる</p> <p><b>実務者経験</b> 1985年作業療法士免取得、専門作業療法士(手外科)2010、認定 ハンドセラピスト(2009)、教育学修士(2023) 1985年大阪医科大学付属病院入職(2012年まで) 2012年京都医健専門学校入職 学会長の経験も豊富である。作業療法士協会の事例登録制度A審査員、学会の演題審査に長年携わる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 作業療法における研究の意義・研究倫理</li> <li>2 文献検索の方法 レビューまとめ</li> <li>3 論文の構成と研究の種類 レビューまとめ</li> <li>4 論文の構成と研究の種類 レビューまとめ 小テスト</li> <li>5 統計の基礎 用語の説明 標準偏差、偏差値、尺度について 小テスト</li> <li>6 統計の基礎 感度と特異度 小テスト</li> <li>7 文献レビュー発表</li> <li>8 文献レビュー発表</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	特に必要ありません。授業中にレビューまとめを終了するよう心掛けてください。		
教科書・教材等	文献検索、配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義 プロジェクター・スライド		
成績評価の方法	小テスト(30%)、定期試験(70%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	授業中に論文を読み、まとめる、自分で文献を検索するなど自分で思考して行動する形式です。結果はすべて提出となります。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	作業療法評価学Ⅲ-1	担当教官名	加藤 孝幸・富松 衛
対象学生	2 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	認知 ボディーイメージ 遊び 感覚統合 発達評価 高齢者機能評価		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 主に認知・精神・発達障害分野で多用する評価法の知識を習得します。</p> <p>到達目標 ①人間の発達段階について理解することができる。 ②発達障害を理解し治療プログラムを理解することができる。 ③高齢者機能の評価について項目を列挙することができる。 ④各機能の評価について説明することができる。</p> <p>実務者経験 2010年 作業療法士免許取得 2010年 回復期リハビリテーション病院にて14年間勤務 2023年 京都医健専門学校に専任教員として入職 回復期病院では脳血管疾患の患者様を中心に退院支援まで包括的な関りを経験 2022年 リハビリテーション医学会発表 2023年 米国神経学会誌に論文発表</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 感覚検査(感覚検査の意義・目的)</li> <li>2 感覚検査(感覚伝導路・受容器・検査)</li> <li>3 高齢者機能評価(身体機能検査・筋緊張検査)</li> <li>4 高齢者機能評価(上肢機能検査)</li> <li>5 高齢者機能評価(協調性・姿勢反射)</li> <li>6 高齢者機能評価(摂食・嚥下機能検査)</li> <li>7 高齢者機能評価(排泄機能検査) まとめ</li> <li>8 オリエンテーション・乳幼児期の成長</li> <li>9 学童期の成長</li> <li>10 感覚統合とは何か</li> <li>11 遊びの実際</li> <li>12 遊びの実際</li> <li>13 症例検討会・制作</li> <li>14 症例検討会・制作</li> <li>15 症例検討会・発表・まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	事前に教科書や資料を確認し、内容を把握しておいてください		
教科書・教材等	標準作業療法学 作業療法評価学		
授業の形式 教育機器の活用	講 義 視聴覚機器利用		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	評価法の学習を通して、人物・物的・文化的環境を幅広く捉え、問題点・強みを同時に評価し、治療に結びつけられるようにしましょう。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野
授業科目名	作業療法評価学Ⅲ-2	担当教官名	富松 衛・加藤 孝幸
対象学生	2 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	発達 感覚統合 高齢者機能評価		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 主に認知・精神・発達障害分野で多用する評価法の知識と方法、解釈について実践を通して学びます。</p> <p>到達目標 ①こどもの特性を理解し遊びを通して感覚統合を学ぶことが出来る ②高齢者機能評価の解釈ができ、問題点抽出、プログラム立案に結び付けられる。</p> <p>実務者経験 富松衛:2016年に作業療法士国家資格取得。作業療法士として、病院、就労継続支援B型、生活介護、放課後等デイサービス等の臨床を経験、公的機関・学校機関と協力し、社会生活への適応を支援する業務に従事。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 発達障害</li> <li>3 感覚統合とは</li> <li>4 遊びの実際</li> <li>5 症例検討・制作</li> <li>6 症例検討・制作</li> <li>7 症例検討・発表</li> <li>8 症例検討・発表・まとめ</li> <li>9 感覚検査(表在感覚・深部感覚)</li> <li>10 感覚検査(表在感覚・深部感覚)</li> <li>11 高齢者機能評価(身体機能評価・筋緊張検査) MAS</li> <li>12 高齢者機能評価(上肢機能検査) STEF</li> <li>13 高齢者機能評価(協調性・バランス検査)</li> <li>14 高齢者機能評価(摂食・嚥下機能検査)</li> <li>15 高齢者機能評価(排泄機能検査) まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	授業当日か翌日中に復習をしましょう		
教科書・教材等	感覚統合の発達と支援 A・ジーン・エアーズ 標準作業療法評価学		
授業の形式 教育機器の活用	実技 視聴覚機器使用		
成績評価の方法	ルーブリック評価での採点 実技試験(50%) レポート評価(50%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	1年生で学んだ人間発達学の知識を使って、子どもたちの支援の実際を学んでいきましょう。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	社会福祉論	担当教官名	和泉 亮
対象学生	2 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	日本の社会福祉の基本理念、生活保護法、児童福祉法、障害者自立支援法、高齢福祉と介護保険法、地域福祉		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 作業療法士に必要な社会福祉の制度について習得します。</p> <p>到達目標 ①日本の社会福祉の基本概念を説明できる。 ②日本の社会福祉制度の種類を説明できる。 ③日本の社会福祉制度と作業療法の関係性を説明できる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 社会福祉の定義</li> <li>2 関連法規と行財政、ソーシャルワークの理解</li> <li>3 最低生活保障と生活保護</li> <li>4 児童福祉から家庭福祉へ</li> <li>5 障がい者の自立と福祉</li> <li>6 高齢者の生活と福祉</li> <li>7 地域福祉推進と地域共生社会への展望</li> <li>8 まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	次回の項目の教科書を一読すると理解が深まります。		
教科書・教材等	大久保秀子、社会福祉とは何か(第4版)、配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義 プロジェクター・スライド		
成績評価の方法	小テスト(30%) 定期試験(70%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	確実に暗記する必要がある科目です。暗記しやすくなるように歴史や社会背景を理解する意識をもって受講してください。単元終了時に小テストを予定しています。		



令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	小児科学	担当教官名	越智 雅晴
対象学生	2 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	成長発達 小児保健 健全育成 先天異常 小児神経筋疾患 発達障害		
授業の概要及び到達目標	<p>授業の概要 代表的な小児疾患の機序・評価と治療などを学ぶ。小児の健常な成長・発達および成長・発達を阻害する疾患の成り立ちと病像について学習し、加えて小児保健の重要性についても学習する。</p> <p>到達目標 ①小児の成長・発達・生理について基本的なことを説明できる ②発達の障害をきたす原因について理解し説明できる ③作業療法を行うに当たって、患児の症状・特性を把握し適切に対応できる。</p> <p>実務者経験 平成2年から現在まで、京都市児童福祉センターの医師として、障害を持った児童の診療とリハビリテーションに携わってきた。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション、小児の成長発達、小児保健、小児科診療の特異性</li> <li>2 子どもの発達と障害: 健常児の姿勢運動発達、脳性麻痺、知的障害</li> <li>3 新生児・未熟児疾患、周産期の異常</li> <li>4 先天異常: 染色体異常症、先天奇形症候群、先天性代謝異常症</li> <li>5 小児の神経疾患: 奇形、神経皮膚症候群、脳腫瘍、脳血管障害など</li> <li>6 小児の運動器疾患: 脊髄・末梢神経・筋疾患、先天性骨疾患</li> <li>7 小児の痙攣性疾患: てんかん、熱性けいれん</li> <li>8 発達障害: 自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障害</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	人間発達学、解剖学、生理学などの復習		
教科書・教材等	標準PT・OT小児科学、教官作成資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義 教官作成スライドなど		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	小児分野の作業療法を目指している人は、小児科学を学ぶことは必須です。子どもの成長・発達や子どもの病気についての知識を習得することは、将来色んな場面で役に立つと思います。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	職業関連	担当教官名	辻井 智
対象学生	2 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	就労、雇用、フォローアップ		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 職業復帰に関する制度と流れなどについて習得します</p> <p>到達目標 ①職業関連活動のかかわりを理解し、説明できる ②作業療法士が知っておくべき制度や技術を学び、説明できる ③各疾患の特徴に合わせた具体的支援を理解し、説明できる</p> <p>実務者経験 作業療法士として一般病院・老人保健施設・訪問リハビリテーション・住宅改修など、臨床から在宅指導まで経験。 また、施設長としてリハビリテーション関連施設の管理運営を行ってきた。 資格: 作業療法士・介護支援専門員・福祉用具プランナー</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 職業と文化</li> <li>2 日本の産業</li> <li>3 就労支援の理論</li> <li>4 就労支援の作業療法の役割</li> <li>5 関連職種・機関との連携</li> <li>6 障害別就労支援①(身体障害)</li> <li>7 障害別就労支援②(精神障害)</li> <li>8 障害別就労支援③(高次脳機能障害)、まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	資料の復習		
教科書・教材等	職業関連活動		
授業の形式 教育機器の活用	講義 パソコン、プロジェクター		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法士の活躍の場は広がっています。職業復帰や社会参加の形は、個人により異なる目標となります。リハビリテーション・ゴールともかかわる内容なので興味を持ってほしい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	神経内科学	担当教官名	山脇 昌
対象学生	2 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	代表的な神経内科疾患		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 代表的な神経内科疾患の機序・評価と治療などを習得します。</p> <p>到達目標 ①神経系の解剖生理学の復習すると同時に、正常な機能の破綻がなぜ脳卒中、高次脳機能障害、認知症、神経筋変性疾患の症状として出現するのかを説明でき、診断、治療の概略を説明できる。</p> <p>実務者経験 東京大学医学部で15年間、講師、准教授として教育・研究・実習、チューター制に携わり、満期退職後は現在まで京都医健専門学校で8年間 解剖学、一般臨床医学、国試対策授業に従事して授業、教育経験が豊富である。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 中枢神経(解剖、機能局在、脳動脈、伝導路など)</li> <li>3 中枢神経(解剖、機能局在、脳動脈、伝導路など)</li> <li>4 末梢神経(運動神経、感覚神経、自律神経など)</li> <li>5 特殊感覚(視覚)</li> <li>6 特殊感覚(聴覚)</li> <li>7 脳卒中(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血)</li> <li>8 脳卒中(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血)</li> <li>9 脳卒中(脳梗塞、くも膜下出血)</li> <li>10 高次脳機能障害(優位半球障害、劣位半球障害)</li> <li>11 認知症(アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症)</li> <li>12 神経筋変性疾患(パーキンソン病、多発性硬化症)</li> <li>13 神経筋変性疾患(筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症)</li> <li>14 神経筋変性疾患筋(筋ジストロフィー、重症筋無力症)</li> <li>15 まとめ、試験前問題演習</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	復習中心に学習する。		
教科書・教材等	独自作成資料を中心に行う。参考書:医学書院「神経内科」		
授業の形式 教育機器の活用	講義 原則対面パワポ授業 状況によりMSチームズを使用した遠隔授業		
成績評価の方法	原則対面試験 状況によりMSチームズを用いた課題提出		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	授業の区切りごとに行うおさらい穴埋めを利用して、重要ポイントをしっかり理解すること、演習問題の正解肢の丸暗記をする癖だけはつけないようにすることが大切です。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野
授業科目名	身体機能治療学Ⅱ(運動・内部系)	担当教官名	岩井有香・谷村 浩子
対象学生	2 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	身体障害のOT 脊髄損傷 骨折 腱損傷 熱傷		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 運動器(骨・関節・筋肉)や内部疾患(循環器、呼吸器等)疾患の特徴と評価、治療の流れなどの知識を習得します。</p> <p>到達目標 ①脊髄損傷の治療の評価と精査の概要を説明できる。 ②上肢の骨折や腱損傷などの外傷に対する治療と評価の概要が説明できる。 ③外傷後の拘縮に対する評価や治療について説明できる。</p> <p>実務者経験 2007年作業療法士国家資格取得 2007年医療法人和風会 千里リハビリテーション病院入職 2010年大阪医科大学附属病院(現:大阪医科薬科大学病院)入職 2023年より現職 臨床現場では、脳血管疾患、脳腫瘍、整形外科疾患、内部疾患などの多岐にわたる症例の診療に携わってきた。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 身体障害の治療手段:関節可動域訓練 (谷村)</li> <li>2 身体障害の治療手段:筋力強化訓練、知覚再教育(谷村)</li> <li>3 脊髄損傷:概要、損傷型 (谷村)</li> <li>4 脊髄損傷:高位レベルごとの特徴と治療(谷村)</li> <li>5 脊髄損傷:高位レベルごとの特徴と治療(谷村)</li> <li>6 脊髄損傷 頸椎症 (岩井)</li> <li>7 拘縮の評価と治療 (岩井)</li> <li>8 拘縮の評価と治療 物理療法の概要 (岩井)</li> <li>9 上肢の骨折の治療 (岩井)</li> <li>10 上肢の骨折の治療 (岩井)</li> <li>11 上肢の骨折の治療 (岩井)</li> <li>12 腱損傷に対する治療(谷村)</li> <li>13 腱損傷に対する治療(谷村)</li> <li>14 熱傷に対する治療 (谷村)</li> <li>15 まとめ、国家試験問題演習 (谷村)</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	運動学Ⅰ 解剖学 特に筋の作用 支配神経についての復習をしておくこと		
教科書・教材等	身体障害作業療法学 その他授業プリント		
授業の形式 教育機器の活用	講義 教科書 講義資料		
成績評価の方法	定期試験100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	外傷に対する身体障害は臨床で遭遇することも多、国家試験問題に出されることも多い分野です。OTとしての基本的な知識になりますので十分な予習と復習を行って下さい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野
授業科目名	身体機能治療学Ⅱ(運動・内部系)	担当教官名	岩井有香・谷村 浩子
対象学生	2 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	身体障害のOT 脊髄損傷 骨折 腱損傷 熱傷		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 運動器(骨・関節・筋肉)や内部疾患(循環器、呼吸器等)疾患の特徴と評価、治療の流れなどの知識を習得します。</p> <p>到達目標 ①脊髄損傷の治療の評価と精査の概要を説明できる。 ②上肢の骨折や腱損傷などの外傷に対する治療と評価の概要が説明できる。 ③外傷後の拘縮に対する評価や治療について説明できる。</p> <p>実務者経験 2007年作業療法士国家資格取得 2007年医療法人和風会 千里リハビリテーション病院入職 2010年大阪医科大学附属病院(現:大阪医科薬科大学病院)入職 2023年より現職 臨床現場では、脳血管疾患、脳腫瘍、整形外科疾患、内部疾患などの多岐にわたる症例の診療に携わってきた。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 身体障害の治療手段:関節可動域訓練 (谷村)</li> <li>2 身体障害の治療手段:筋力強化訓練、知覚再教育(谷村)</li> <li>3 脊髄損傷:概要、損傷型 (谷村)</li> <li>4 脊髄損傷:高位レベルごとの特徴と治療(谷村)</li> <li>5 脊髄損傷:高位レベルごとの特徴と治療(谷村)</li> <li>6 脊髄損傷 頸椎症 (岩井)</li> <li>7 拘縮の評価と治療 (岩井)</li> <li>8 拘縮の評価と治療 物理療法の概要 (岩井)</li> <li>9 上肢の骨折の治療 (岩井)</li> <li>10 上肢の骨折の治療 (岩井)</li> <li>11 上肢の骨折の治療 (岩井)</li> <li>12 腱損傷に対する治療(谷村)</li> <li>13 腱損傷に対する治療(谷村)</li> <li>14 熱傷に対する治療 (谷村)</li> <li>15 まとめ、国家試験問題演習 (谷村)</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	運動学Ⅰ 解剖学 特に筋の作用 支配神経についての復習をしておくこと		
教科書・教材等	身体障害作業療法学 その他授業プリント		
授業の形式 教育機器の活用	講義 教科書 講義資料		
成績評価の方法	定期試験100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	外傷に対する身体障害は臨床で遭遇することも多、国家試験問題に出されることも多い分野です。OTとしての基本的な知識になりますので十分な予習と復習を行って下さい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)		専門分野	
授業科目名	精神障害治療学 I	担当教官名	銀山 章代		
対象学生	2 年	履修学期	後 期		
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回		
授業のキーワード	精神障害作業療法・評価から治療の流れ・疾患別作業療法				
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 教科書に沿って、精神科領域の作業療法の評価・治療の流れを習得します。</p> <p><b>到達目標</b> ・精神科領域の作業療法の評価方法を理解できる。 ・精神科領域の疾患別の作業療法の治療方法を理解できる。 ・症例を通じ、精神科領域の作業療法の流れを具体的に理解できる。</p> <p><b>実務者経験</b> 精神科病院で約20年勤務。精神科作業療法・精神科デイケア・重度認知症デイケアに携わる。 大学で約20年間作業療法教育に従事。基礎作業学・作業療法概論・集団演習・精神障害評価学・精神障害治療学等担当 現在、生活支援・就労支援施設で週3.5日勤務。非常勤講師として基礎作業学・作業学実習を担当</p>				
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 基礎概念(精神科医療)</li> <li>2 基礎概念(基礎理論)</li> <li>3 評価の流れと評価手段(情報収集・面接・検査)</li> <li>4 評価をまとめる(目標設定)</li> <li>5 治療構造(作業活動・集団・自己の利用)</li> <li>6 治療・援助の場(精神科作業療法・デイナイトケア・重度認知症デイケア)</li> <li>7 疾患別の対応(症状に合わせた対応)器質性精神障害</li> <li>8 統合失調症に対する作業療法</li> <li>9 気分障害に対する作業療法</li> <li>10 神経症性障害・身体表現性障害・摂食障害・パーソナリティ障害</li> <li>11 知的障害・発達障害・てんかん・認知症</li> <li>12 地域生活支援(訪問看護・ACT・就労支援・関連法規・制度)</li> <li>13 事例を通じての精神科作業療法の流れの理解(事例1)</li> <li>14 事例を通じての精神科作業療法の流れの理解(事例2)</li> <li>15 事例を通じての精神科作業療法の流れの理解(事例3)</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>				
準備学習	事前に教科書を読み、わからないところを見つけて、講義に臨むと理解が深まります。				
教科書・教材等	長崎重信(監):作業療法学ゴールドマスターテキスト 精神障害作業療法学(第3版)、メジカルビュー社、2021。ISBN:978-4-7583-2046-7				
授業の形式 教育機器の活用	講義 パソコン プロジェクター				
成績評価の方法	小テスト(20パーセント)・定期試験(80パーセント)				
担当教官から (履修にあたっての留意点)	分からないことがあれば質問しあい、対話を通じて理解を深めあいましょう				

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	内科学	担当教官名	越智 雅晴
対象学生	2 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	内科的疾患 病態 症状 診断 治療 合併症		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 代表的な内科疾患の機序・評価と治療などを学ぶ。毎回、生理学・解剖学・病理学などの基礎知識を復習しながら疾患の理解を深める。</p> <p>到達目標 ①代表的な内科疾患の病態、症状、合併症、治療について説明できる。 ②内科的な基礎疾患を有する患者の作業療法を行うに当たって注意すべき点を把握し対応できる。</p> <p>実務者経験 平成2年度から現在まで、京都市児童福祉センター医師として、障害を持った児童や成人の診療とリハビリテーションに携わってきた。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション、内科学総論：診断治療のすすめ方(例：高血圧症)</li> <li>2 循環器疾患①：心臓のポンプ機能と心不全</li> <li>3 循環器疾患②：心臓の電気生理と心電図、不整脈</li> <li>4 循環器疾患③：虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症)、心筋症</li> <li>5 循環器疾患④：心音、心臓弁膜症</li> <li>6 循環器疾患⑤：先天性心疾患、血管疾患</li> <li>7 呼吸器疾患①：呼吸機能と換気障害(閉塞性、拘束性)</li> <li>8 呼吸器疾患②：肺炎、呼吸音、呼吸不全、換気異常と酸塩基平衡</li> <li>9 血液疾患：貧血症、白血病、悪性リンパ腫、血液凝固異常など</li> <li>10 消化器疾患①：消化管疾患(胃腸疾患)</li> <li>11 消化器疾患②：肝臓・胆道系疾患、膵臓疾患</li> <li>12 代謝疾患：糖尿病、高脂血症など</li> <li>13 内分泌疾患：下垂体、甲状腺、副腎疾患など</li> <li>14 腎泌尿器疾患：腎炎、腎不全など</li> <li>15 アレルギー疾患、膠原病、免疫不全、感染症</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	解剖学、生理学、病理学など基礎医学の復習		
教科書・教材等	標準PT・OT内科学、教官作成資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義 教官作成スライドなど		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	臨床内科学の学習は、解剖学・生理学・病理学の応用です。各疾患の病態を把握するためには、これらの基礎医学の知識が必須です。講義では常に基礎的な事項を振り返りながら話を進めていきます。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	日常生活活動Ⅰ	担当教官名	西林 賢裕
対象学生	2 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	基本動作 日常生活活動 ADL 身辺動作 ICF FIM		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 日常生活活動の基本概念と構成要素について習得します。</p> <p>到達目標 ①日常生活動作の捉え方と視点を理解する ②基本動作の活動と特徴を捉え作業療法との関係を理解する ③身辺動作の活動と特徴を捉え作業療法との関係を理解する</p> <p>実務者経験 2006年 作業療法士免許取得 2006年 平成医療福祉グループ(地域領域・回復期・養成校) 2016年 滋慶学園グループ(鳥取校・京都校) 2018年 長期講習修了 臨床時には地域医療を中心に様々な疾患に対し関わり、養成校所属時は産学官連携にて障がい者スポーツに対して取り組み 2020年次の作業療法学会にて活動報告実施。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 日常生活活動の定義と分類</li> <li>3 日常生活活動動作と作業療法</li> <li>4 領域別に考える日常生活活動</li> <li>5 身辺動作</li> <li>6 日常生活関連動作</li> <li>7 日常生活動作の評価について</li> <li>8 まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	授業を理解するために、普段の生活から基本動作・身辺動作について考えておく		
教科書・教材等	教科書:作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 日常生活活動学(ADL)・資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器使用		
成績評価の方法	定期試験100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	解剖学・運動学の知識は必要です。授業で学んだことを実習に活かすことができるように、普段の生活から日常生活活動を意識して学んでいきましょう。		



令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	臨床実習Ⅱ(見学実習)	担当教官名	安田 育生
対象学生	2 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必修	授業回数	80 時間
授業のキーワード	情意領域 認知領域 精神運動領域 実習報告		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 地域包括ケアシステムの強化に資する高度人材医療人材の育成のために、臨床実習指導者の管理の下で、臨床で求められるマナーを習得し実際の作業療法を理解します。</p> <p><b>到達目標</b> ①実習生として適切な行動をとり常識的態度を身につける ②臨床現場を見学し、作業療法士としての役割を理解する ③臨床実習指導者のもと、評価手段を体験し身につける ④実習を通して、自己管理を行うことができるようになる ⑤地域包括ケアシステムの概要を説明できる</p> <p><b>実務者経験</b> 2016年 作業療法士免許取得 リハビリ専門病院にて回復期・慢性期の病棟に勤務 2019年 クリニックに併設した訪問リハビリテーション部に勤務 2021年 精神科の訪問看護ステーションに勤務 2023年 京都医健専門学校に勤務</p>		
講義計画・内容	<p>【実習前】</p> <p>実習オリエンテーション ・ 客観的能力試験</p> <p>【臨床実習】</p> <p>・基本的態度 ・基本的臨床技能(評価) ・基本的臨床技能(介助)</p> <p>・作業療法管理・運営・役割</p> <p>【実習後】</p> <p>実習報告会 ・ 客観的能力試験 個別面談</p>		
準備学習	実習生としての立ち居振る舞いについての復習。知識・技術の復習		
教科書・教材等	所有している教科書・資料等		
授業の形式 教育機器の活用	実習 視聴覚機器(レポート作成・報告会等)		
成績評価の方法	実習施設評価(50%) 学内評価(50%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法士としての役割を理解し興味・関心を高めてください。また、実習生としての立ち居振る舞いを学修し自己学習態度も身につけてください。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	臨床薬学	担当教官名	北野 富美雄
対象学生	2 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	統合失調症 気分障害 パーキンソン病 リウマチ 癲癇 認知症 悪性腫瘍 痙縮 筋無力症 薬物療法		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 臨床で多用する薬剤の効用と副作用などについて学びます。</p> <p>到達目標 ①薬物療法について説明できる。 ②チームワークの一員としてチーム医療に参画できる。</p> <p>実務者経験 25年間、八尾徳洲会総合病院で臨床薬剤師として勤務 臨床薬剤師(入院患者対象 内科 外科 脳神経外科 整形外科 病棟)に従事。院内臨床カンファレンスでの入院患者服薬状況、副作用 の報告 情報提供。他職種(医師 看護師 視能訓練士 言語聴覚士 作業療法士 )研修会での薬品情報提供(新薬 副作用 禁忌 注意点 等) 実務経験あり。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション、統合失調症、抗精神病薬、定型薬、ハロペリドール、非定型薬</li> <li>2 気分障害 抗うつ薬 第1世代 第2世代 第3世代 SSRI 第4世代 SNRI</li> <li>3 パーキンソン病 パーキンソン病治療薬( レボドパ アマンタジン プロモクリプテン )</li> <li>4 関節リウマチ 抗リウマチ剤( メトトレキサート )生物学的製剤( インフリキシマブ)</li> <li>5 認知症 アルツハイマー治療薬(ドネペジル リバスタチグミン ガランタミン)</li> <li>6 てんかん 抗てんかん剤 フェニトイン カルバマゼピン フェノバルビタール バルプロ酸</li> <li>7 悪性腫瘍 各種 抗癌剤 薬理作用 副作用 注意点</li> <li>8 重症筋無力症 抗コリンエステラーゼ 脳卒中後の筋痙縮治療 ボツリヌストキシン まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	毎回 予習、復習が必要となる		
教科書・教材等	薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進 医学書院 第13版		
授業の形式 教育機器の活用	講義 特に機器の使用はない		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	解らないところがあれば、解るまできてほしい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	老年期治療学 I	担当教官名	堂岡 悠理
対象学生	2 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	高齢者の機能評価と老年期症候群		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 老年期障害の特徴、疾患の特徴、評価、治療の流れなどについて習得します。</p> <p>到達目標 ①高齢期障がい进行分类し高齢期作業療法の考え方を話し合う。 ②高齢期の特徴および高齢者に多い疾患五つについて説明できる。 ③認知症について、基礎知識を表現、口述することができる。</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 臨床時には総合病院で主に急性期を担当。また地域包括ケア病棟での作業療法を経験し退院支援にも携わってきた。京都府作業療法士会ではMTDLP推進委員に所属している 2020年 臨床実習指導者講習会 2021年 第一回理学療法士・作業療法士専任教員養成講習会</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高齢期の一般的特徴: 高齢期の生理的・身体的特徴)</li> <li>2 高齢期の一般的特徴: 老年症候群(低栄養 転倒 寝たきり)</li> <li>3 高齢期の一般的特徴: 老年症候群(褥瘡 廃用症候群 フレイル)</li> <li>4 高齢期作業療法の実践課程 高齢期作業療法実践における生活の捉え方</li> <li>5 認知症高齢者の作業療法: 認知症のリハビリテーション 作業療法の視点</li> <li>6 認知高齢者の作業療法: 支援場所による作業療法の実践(関わり)</li> <li>7 認知高齢者の作業療法: 実践と発表準備</li> <li>8 認知高齢者の作業療法: 実践と発表</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	高齢期作業療法についての事前学習		
教科書・教材等	高齢期作業療法学-第4版(医学書院)		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器(パソコン プロジェクター)		
成績評価の方法	レポート/発表(30%) 定期試験70%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	高齢者に特徴的な疾患について、その評価・治療について実践を通じて学びます。その中でクラスで共有し他者に伝える力をつけていきましょう。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	運動学Ⅱ	担当教官名	岩井 有香・谷村 浩子・南條千人
対象学生	2 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	肩複合体 手関節 母指・手指の筋と運動 顔面・頭部の筋と運動 股・膝関節の筋と運動		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 主に上肢・体幹の運動に関する器官と仕組みについて習得します。</p> <p>到達目標 ①上肢と体幹の運動について説明することができる。 ②運動に必要な筋の働きや支配神経について説明できる。 ③股関節・膝関節の運動について説明することができる。 ④顔面と頭部の運動について説明することができる。</p> <p>実務者経験 2007年作業療法士国家資格取得 2007年医療法人和風会 千里リハビリテーション病院入職 2010年大阪医科大学附属病院(現:大阪医科薬科大学病院)入職 2023年より現職 臨床現場では、脳血管疾患、脳腫瘍、整形外科疾患、内部疾患などの多岐にわたる症例の診療に携わってきた。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 肩複合体の運動学 肩関節の構造と機能(岩井)</li> <li>2 肩複合体の運動学 肩関節の構造と機能 関節運動(岩井)</li> <li>3 肩複合体の運動学 関与する筋(岩井)</li> <li>4 肩複合体の運動学 関与する筋(岩井)</li> <li>5 手関節の構造と機能(谷村)</li> <li>6 手関節の構造と機能 関与する筋(谷村)</li> <li>7 手指の構造と機能 関与する筋(谷村)</li> <li>8 手指の伸展機構(谷村)</li> <li>9 母指の構造と機能(谷村)</li> <li>10 顔面と頭部の筋(岩井)</li> <li>11 股関節の運動学 (南條)</li> <li>12 股関節の運動学 (南條)</li> <li>13 膝関節の運動学 (南條)</li> <li>14 膝関節の運動学 (南條)</li> <li>15 総まとめ 国家試験演習(岩井)</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	解剖学を十分復習しておくようにして下さい。		
教科書・教材等	理学療法・作業療法テキスト 運動学 講義資料		
授業の形式 教育機器の活用	演習 骨格模型 視聴覚教材等		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	解剖学を十分復習して臨んで下さい。正常な人体の構造・機能に関する理解は作業療法士として必須項目である。臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。毎回の講義内容が膨大なものとなるため、予習、復習は必須条件である。また、体調管理には十分留意し、くれぐれも欠席をしないようにしましょう。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野
授業科目名	作業療法総合演習Ⅱ-1	担当教官名	堂岡 悠里・加藤 孝幸・安田 育生
対象学生	2 年	履修学期	前 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	医療福祉 障がい者スポーツ 小児発達		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 2年次に学習した基本の手技を応用できるよう実践を通して習得します。</p> <p>到達目標 ①臨床における必要な知識・技術を身につけ実践する事ができる。 ②分野による作業療法士の役割の違いを実践できる。</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 臨床時には総合病院で主に急性期を担当。また地域包括ケア病棟での作業療法を経験し退院支援にも携わってきた。京都府作業療法士会ではMTDLP推進委員に所属している 2020年 臨床実習指導者講習会 2021年 第一回理学療法士・作業療法士専任教員養成講習会</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツ分野:オリエンテーション スポーツと作業療法</li> <li>2 スポーツ分野:作業療法士がスポーツ業界で活躍する可能性</li> <li>3 スポーツ分野:体験から作業療法の可能性を考える(強みと問題点抽出)</li> <li>4 スポーツ分野:スポーツから作業療法士の視点を考える(グループ検討)</li> <li>5 医療福祉:オリエンテーション・先端的リハビリテーションの実態</li> <li>6 医療福祉:現場でのリハビリテーション治療体験(ロボット療法、PA療法、電気刺激療法)</li> <li>7 医療福祉:地域での作業特性と、作業療法の活躍の場について考える</li> <li>8 医療福祉:ロボット介入療法(LOVOTの機能について治療的側面を考察する)</li> <li>9 医療福祉:LOVOTの効果から学校や臨床現場での活用について(グループ検討)</li> <li>10 小児分野:オリエンテーション</li> <li>11 小児分野:観察からの評価</li> <li>12 小児分野:問題点抽出</li> <li>13 小児分野:グループ検討</li> <li>14 レポート作成</li> <li>15 発表</li> <li>16 まとめ</li> </ol>		
準備学習	授業前の課題に取り組んで予習をしておきましょう		
教科書・教材等	配布資料 標準作業療法学作業療法評価学 臨床実習とOSCE		
授業の形式 教育機器の活用	演 習 視聴覚機器		
成績評価の方法	レポート課題(100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	それぞれの分野から作業療法士の職域や可能性について考えましょう。関わりの中で視点を広げる力も身につけていきましょう。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	作業療法総合演習Ⅱ-2	担当教官名	山脇 昌
対象学生	2 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	わかりやすく、丁寧に、ゆっくりと		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 2年次に学習した基礎知識を応用できるよう実践を通して学びます。</p> <p>到達目標 ①臓器別の主な病態について正常機能を含めて説明できる。 ②国試過去問レベルの問題演習で正解率7割以上を達成する。</p> <p>実務者経験 東京大学医学部で15年間、講師、准教授として教育・研究・実習、チューター制に携わり、満期退職後は現在まで京都医健専門学校で8年間 解剖整理学、一般臨床医学、国試対策授業に従事して授業、教育経験が豊富である。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 診察(問診、視診、触診、打診など)</li> <li>3 診察(バイタル、症候論など)</li> <li>4 検査(血圧、心電図など)</li> <li>5 検査(血液、エクス線、CT、MRIなど)</li> <li>6 心不全(高血圧症、心筋梗塞・狭心症、不整脈など)</li> <li>7 心不全(高血圧症、心筋梗塞・狭心症、不整脈など)</li> <li>8 ショック・救命救急</li> <li>9 呼吸不全</li> <li>10 肝不全</li> <li>11 腎不全</li> <li>12 代謝疾患(糖尿病、痛風など)</li> <li>13 内分泌疾患</li> <li>14 脳卒中</li> <li>15 まとめ 試験直前問題演習</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	復習中心に学習する。		
教科書・教材等	独自作成資料を中心に行う。参考書:医学書院「内科学」		
授業の形式 教育機器の活用	演習 原則対面パワポ授業 状況によりMSチームズを使用した遠隔授業		
成績評価の方法	原則対面試験 状況によりMSチームズを用いた課題提出		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	授業の区切りごとに行うおさらい穴埋めを利用して、重要ポイントをしっかり理解すること、演習問題の正解肢の丸暗記をする癖だけはつけないようにすることが大切です。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野
授業科目名	作業療法評価学Ⅱ-1	担当教官名	安田 育生・加藤 孝幸
対象学生	2 年	履修学期	前 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	作業療法評価 身体障害 基本技術		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 主に身体障害分野で多用する評価法の知識と方法、解釈について実践を通して習得します。</p> <p>到達目標 ①正確な評価の方法が説明できる ②評価実施のポイントが説明できる ③評価実施において留意点を理解し説明できる</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 リハビリ専門病院にて回復期・慢性期の病棟に勤務 2019年 クリニックに併設した訪問リハビリテーション部に勤務 2021年 精神科の訪問看護ステーションに勤務 2023年 京都医健専門学校に勤務</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 総論・関節可動域測定:肩関節</li> <li>2 関節可動域測定:肘関節</li> <li>3 関節可動域測定:前腕・手関節</li> <li>4 関節可動域測定:股関節</li> <li>5 関節可動域測定:膝関節・足部</li> <li>6 関節可動域測定:頸部・体幹</li> <li>7 関節可動域測定:手指</li> <li>8 総論・徒手筋力検査:肩甲骨周囲筋</li> <li>9 徒手筋力検査:肩関節周囲筋</li> <li>10 徒手筋力検査:肘関節周囲筋</li> <li>11 徒手筋力検査:手関節周囲筋</li> <li>12 徒手筋力検査:股関節・膝関節周囲筋</li> <li>13 徒手筋力検査:体幹筋</li> <li>14 徒手筋力検査:手指</li> <li>15 まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	グループ間での情報の共有		
教科書・教材等	作業療法評価学・改訂第3版-医学書院・徒手筋力検査		
授業の形式 教育機器の活用	講義 パソコン プロジェクター ゴニオメーター		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	授業に関係のない私語や行為を慎んで、周りに迷惑にならないよう授業に臨んで下さい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	作業療法評価学Ⅱ-2	担当教官名	安田育生・加藤孝幸
対象学生	2 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	作業療法評価 身体障害 基本技術		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 主に身体障害分野で多用する評価法の知識と方法、解釈について実践を通して習得します</p> <p>到達目標 ①評価のポイントを理解し評価が実施できる ②留意点を意識しながら評価が実施できる ③無駄が少なく正確な評価が実施できる</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 リハビリ専門病院にて回復期・慢性期の病棟に勤務 2019年 クリニックに併設した訪問リハビリテーション部に勤務 2021年 精神科の訪問看護ステーションに勤務 2023年 京都医健専門学校に勤務</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 関節可動域測定:肩関節・肘関節</li> <li>3 関節可動域測定:前腕・手関節</li> <li>4 関節可動域測定:股関節</li> <li>5 関節可動域測定:膝関節・足部</li> <li>6 関節可動域測定:頸部・体幹</li> <li>7 関節可動域測定:手指</li> <li>8 総論・徒手筋力検査:肩甲骨周囲筋</li> <li>9 徒手筋力検査:肩関節周囲筋</li> <li>10 徒手筋力検査:肘関節周囲筋</li> <li>11 徒手筋力検査:手関節周囲筋</li> <li>12 徒手筋力検査:股関節・膝関節周囲筋</li> <li>13 徒手筋力検査:体幹筋</li> <li>14 徒手筋力検査:手指</li> <li>15 まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	グループ間での情報の共有		
教科書・教材等	作業療法評価学・改訂第3版-医学書院・徒手筋力検査		
授業の形式 教育機器の活用	実技 パソコン プロジェクター ゴニオメーター		
成績評価の方法	パフォーマンス評価(ルーブリック評価) 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	授業に関係のない私語や行為を慎んで、周りに迷惑にならないよう授業に臨んで下さい。 ピアスを外す、髪を束ねるなど、実習同様の身なりでの参加をお願いします。		



学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	整形外科学	担当教官名	北條 達也
対象学生	2 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	外傷 変性疾患 スポーツ障害 リハビリテーション		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 代表的な整形外科疾患の機序・評価と治療などを習得します。</p> <p>到達目標 ①OTとして求められる知識や技能を説明できる。 ②整形外科疾患の概要を理解し説明する高知尾ができる。 ③対象者に適切なOTが実施できるようなつ指揮を身に着け、説明することができる。</p> <p>実務者経験 1988年に医師免許を取得。その後現在に至るまで整形外科およびリハビリテーションの診療を継続して実践している。整形外科学・リハビリテーション医学・リウマチの専門医でもあり、2002年～2005年は回復期病院で、2005年～2008年は大学病院の医師(講師)として整形外科とリハビリテーション医学の診療を行っていた。現在は同志社大学スポーツ健康科学部で臨床系科目の講義(リハビリテーション医学・スポーツ医学・生活習慣病概論他)の講義を担当している。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 整形外科概論</li> <li>2 外傷学総論</li> <li>3 関節疾患①</li> <li>4 関節疾患②</li> <li>5 代謝性骨疾患</li> <li>6 骨・軟部腫瘍</li> <li>7 頸椎疾患</li> <li>8 胸・腰椎疾患</li> <li>9 末梢神経障害 絞扼神経障害他</li> <li>10 肩・肘関節</li> <li>11 前腕・手関節・手</li> <li>12 骨盤・股関節</li> <li>13 膝関節</li> <li>14 足関節</li> <li>15 スポーツ障害 まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	解剖学で学ぶ運動器の内容は理解しておく。特に主要な筋の起始・停止・神経支配は復習しておく。定期的に小テストを行う。直接成績には加味しないが、定期試験につながる内容であるので、小テスト前後は特に予習・復習を行うこと。		
教科書・教材等	病気がみえる 運動器・整形外科		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚教材		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	臨床医学系の講義課目は記憶しないといけない事項が多いですので、根気強く学習してください。特に整形外科学は作業療法の学習にとって重要な分野です。知らなくていい知識はありません。日々の努力を期待しています。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	精神医学	担当教官名	松井 孝至
対象学生	2 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	精神疾患 統合失調症 気分障害 神経症 摂食障害 依存症		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 代表的な精神疾患の機序・評価と治療などを習得します。</p> <p>到達目標 ①精神機能と精神機能障害について説明できる。 ②各精神疾患の概要と治療法を説明できる。 ③精神科リハビリテーションの概要について説明できる。</p> <p>実務者経験 医療法人三幸会第二北山病院 作業療法士 松井孝至(精神科OT歴22年) 京都府作業療法士会理事 認知行動療法や認知の偏りなどの講演多数</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 精神医学概要、歴史、精神障害の成因</li> <li>2 精神機能と精神症状①</li> <li>3 精神機能と精神症状②</li> <li>4 精神機能と精神症状③</li> <li>5 統合失調症①</li> <li>6 統合失調症②</li> <li>7 気分障害①</li> <li>8 気分障害②</li> <li>9 神経症①</li> <li>10 神経症②</li> <li>11 摂食障害</li> <li>12 パーソナリティ障害</li> <li>13 認知症</li> <li>14 てんかん</li> <li>15 まとめ アルコール依存症 薬物依存</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	教科書(次回講義内容)に目を通しておいてください。		
教科書・教材等	標準理学療法作業療法 精神医学、医学書院・配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義 PC・プロジェクター 等視聴覚機器使用 グループワーク		
成績評価の方法	定期試験100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	精神科の症状は目に見えにくいものなので、「わかりにくい」と感じている学生も多いのではと思います。しかし、どの分野であっても患者さんのしんどさ・生き辛さに寄り添い、共感していくことは一緒です。症状を知ることはもちろん大事ですが、症状以上に『その人を知る』という視点を忘れないでもらいたいです。		



令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	薬理学	担当教官名	北野 富美雄
対象学生	2 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	医薬品 代謝系疾患 循環器疾患 呼吸器疾患 脳血管疾患 薬物依存 薬物療法 薬の薬理 副作用		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 一般的な薬剤の役割、効用や副作用などについて習得します。</p> <p>到達目標 ①薬物療法について説明できる。 ②チームワークの一員としてチーム医療に参画できる。</p> <p>実務者経験 25年間、八尾徳洲会総合病院で臨床薬剤師として勤務。臨床薬剤師(入院患者対象 内科 外科 脳神経外科 整形外科病棟)に従事。院内臨床カンファレンスでの入院患者服薬情報、副作用の報告 情報提供。他職種(医師 看護師 視能訓練士 言語聴覚士 作業療法士)研修会での薬品情報(副作用 禁忌 注意点 新薬 等の)提供。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 薬剤について 医薬品とは 薬剤代謝 吸収 排泄 体内変動 副作用</li> <li>2 代謝系疾患Ⅰ-糖尿病 治療薬 インスリン製剤 経口糖尿病薬 SU尿薬系 インクレチン メタボリックシンドローム</li> <li>3 代謝系疾患Ⅱ-脂質異常症治療薬 フィブラート系 スタチン系 痛風治療薬 コルヒチン NSAIDs アロプリドール プロベネシド</li> <li>4 循環器疾患Ⅰ-狭心症 心筋梗塞 ニトログリセリン Ca拮抗剤 β遮断剤</li> <li>5 循環器疾患Ⅱ-心不全 高血圧 降圧剤 強心剤 ACE阻害薬 利尿薬 ARB</li> <li>6 呼吸器疾患-閉塞性換気障害 気管支喘息 COPD 気管支拡張薬 ステロイド剤</li> <li>7 脳血管疾患-脳梗塞 血栓溶解剤 t-PA アルテプラゼ モンテプラゼ</li> <li>8 薬物依存症-麻薬中毒 覚醒剤中毒 抗不安剤中毒 アルコール中毒</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	毎回 予習・復習が必要となる。		
教科書・教材等	薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進 医学書院 第13版		
授業の形式 教育機器の活用	講義 特に機器の使用はない		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	解らないことがあれば、解るまできいてほしい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	老年期学	担当教官名	辻井 智
対象学生	2 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	老化 加齢		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 老年期に多発する疾患の機序・評価の視点などを習得します。</p> <p>到達目標 ①加齢による生理機能の変化について学び説明できる。 ②老年期に特徴的な疾病や機能低下について説明できる。 ③高齢者の生活環境や活動の特徴を説明できる。 ④終末期について説明する事ができる。</p> <p>実務者経験 作業療法士として一般病院・老人保健施設・訪問リハビリテーション・住宅改修など、臨床から在宅指導まで経験。 また、施設長としてリハビリテーション関連施設の管理運営を行ってきた 資格:作業療法士・介護支援専門員・福祉用具プランナー</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション・老化と老年病の考え方</li> <li>2 高齢者へのアプローチ①</li> <li>3 高齢者へのアプローチ②</li> <li>4 高齢者に特徴的な症候と疾患①</li> <li>5 高齢者に特徴的な症候と疾患②</li> <li>6 高齢者を取り巻く環境①</li> <li>7 高齢者を取り巻く環境②</li> <li>8 まとめ・人生の最終段階における医療</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	授業前に前回の内容を復習をして臨んでください。		
教科書・教材等	標準理学療法学・作業療法学「老年学」第5版【医学書院】		
授業の形式 教育機器の活用	講義 パソコン プロジェクター		
成績評価の方法	定期試験100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法士の多くが担当する機会のある高齢者、どのように対応する必要があるのかイメージできるようになってほしい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	その他
授業科目名	キャリア教育演習Ⅱ	担当教官名	安田 育生
対象学生	2 年	履修学期	通 年
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	メタ認知 自己調整学習		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 作業療法士を目指すための学業への取り組み方、臨床現場で求められる行動やコミュニケーション法について、体験を通して習得します。</p> <p>到達目標 ①能動的に取り組み、課題を見つけ出す。 ②自分に適した学習方法を習得することができる。 ③自分の特性を知り、将来を見据えることができる。</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 リハビリ専門病院にて回復期・慢性期の病棟に勤務 2019年 クリニックに併設した訪問リハビリテーション部に勤務 2021年 精神科の訪問看護ステーションに勤務 2023年 京都医健専門学校に勤務</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 自分の強みと弱みを考える①</li> <li>3 自分の強みと弱みを考える②</li> <li>4 自分の価値観に気付く①</li> <li>5 自分の価値観に気付く②</li> <li>6 将来や仕事について①</li> <li>7 将来や仕事について②</li> <li>8 ジョハリの窓①</li> <li>9 ジョハリの窓②</li> <li>10 学習の仕方①</li> <li>11 学習の仕方②</li> <li>12 学習の仕方③</li> <li>13 学習の仕方④</li> <li>14 学習の仕方⑤</li> <li>15 まとめ</li> <li>16 まとめ</li> </ol>		
準備学習	医療職者を目指す学生として普段から立ち居振る舞いについて意識して行動しましょう。		
教科書・教材等	配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	演習 視聴覚機器 グループワーク(アクティブラーニング形式)		
成績評価の方法	レポート評価(100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	自分の考え方や価値観を振り返り、学習の仕方や将来像も見据え、計画的に行動できるようにしましょう。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	研究法Ⅱ	担当教官名	谷村 浩子
対象学生	3 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	量的研究、質的研究、統計学の基礎、調査法の作成、実験研究の環境設定		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 実際の研究活動を通して、各種研究法、統計処理、報告方法を習得します。</p> <p><b>到達目標</b> ①目標別に適した研究方法を選択できる ②目的に合わせた統計方法を選択できる ③調査、検査等の結果を報告できる</p> <p><b>実務者経験</b> 1985年作業療法士免取得、専門作業療法士(手外科)2010、認定ハンドセラピスト(2009)、教育学修士(2023) 1985年大阪医科大学付属病院入職(2012年まで) 2012年京都医健専門学校入職 学会長の経験も豊富である。作業療法士協会の事例登録制度A審査員、学会の演題審査に長年携わる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション・代表的な研究法と統計学の必要性、用語の説明</li> <li>2 量的研究と統計学の基礎①</li> <li>3 量的研究と統計学の基礎②</li> <li>4 質的研究</li> <li>5 調査研究と調査票作成</li> <li>6 調査研究と調査票作成</li> <li>7 実験研究と環境設定</li> <li>8 実験研究と環境設定</li> <li>9 研究計画と方法の検討</li> <li>10 研究計画と方法の検討</li> <li>11 研究の実際</li> <li>12 研究の実際</li> <li>13 研究の実際</li> <li>14 研究報告の実際</li> <li>15 研究報告の実際</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	特に必要ありません		
教科書・教材等	文献研究、配布資料 教科書		
授業の形式 教育機器の活用	講義 プロジェクター・パソコン		
成績評価の方法	課題提出・発表50% 定期試験50%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	実践課題(作成・実験等)は〆切を守ってください。 グループで協力して課題に取り組む意識を持ってください。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	作業療法管理学	担当教官名	辻井 智
対象学生	3 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	マネジメント 管理 組織 情報		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 臨床で必要な医療保険福祉の制度と作業療法の管理運営の必要性、方法論について習得します。</p> <p><b>到達目標</b> ①管理の基本である組織マネジメントを学び、チームの一員として求められる行動を理解する。 ②作業療法士に求められる業務内容と倫理・制度・キャリア開発について理解し、説明できる。</p> <p><b>実務者経験</b> 作業療法士として一般病院・老人保健施設・訪問リハビリテーション・住宅改修など、臨床から在宅指導まで経験。 また、施設長としてリハビリテーション関連施設の管理運営を行ってきた。 資格:作業療法士・介護支援専門員・福祉用具プランナー</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 作業療法におけるマネジメント</li> <li>2 組織の成り立ちとマネジメント</li> <li>3 情報のマネジメント</li> <li>4 作業療法と医療サービス</li> <li>5 医療安全のマネジメント</li> <li>6 作業療法業務のマネジメント(1)(人・物・経済性)</li> <li>7 作業療法業務のマネジメント(2)(情報・時間・ストレス)</li> <li>8 作業療法業務のマネジメント(3)(実践からの学び)</li> <li>9 作業療法の役割と職域</li> <li>10 作業療法士の職業倫理</li> <li>11 作業療法をとりまく諸制度</li> <li>12 作業療法臨床実習の理解と管理体制(1)</li> <li>13 作業療法臨床実習の理解と管理体制(2)</li> <li>14 作業療法士のキャリア開発(1)</li> <li>15 作業療法士のキャリア開発(2)、まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	配布資料の復習		
教科書・教材等	作業療法管理学入門 第2版		
授業の形式 教育機器の活用	講義 パソコン プロジェクター		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法士の職域は広がるとともに、リハビリテーションチームとしても多くの他職種の方と関わるようになった。制度の理解やマネジメントについても求められる時代となっており、その基本は理解しておいてください。		



令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	作業療法管理学	担当教官名	辻井 智
対象学生	3 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	マネジメント 管理 組織 情報		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 臨床に必要な医療保険福祉の制度と作業療法の管理運営の必要性、方法論について習得します。</p> <p>到達目標 ①管理の基本である組織マネジメントを学び、チームの一員として求められる行動を理解する。 ②作業療法士に求められる業務内容と倫理・制度・キャリア開発について理解し、説明できる。</p> <p>実務者経験 作業療法士として一般病院・老人保健施設・訪問リハビリテーション・住宅改修など、臨床から在宅指導まで経験。 また、施設長としてリハビリテーション関連施設の管理運営を行ってきた。 資格:作業療法士・介護支援専門員・福祉用具プランナー</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 作業療法におけるマネジメント</li> <li>2 組織の成り立ちとマネジメント</li> <li>3 情報のマネジメント</li> <li>4 作業療法と医療サービス</li> <li>5 医療安全のマネジメント</li> <li>6 作業療法業務のマネジメント(1)(人・物・経済性)</li> <li>7 作業療法業務のマネジメント(2)(情報・時間・ストレス)</li> <li>8 作業療法業務のマネジメント(3)(実践からの学び)</li> <li>9 作業療法の役割と職域</li> <li>10 作業療法士の職業倫理</li> <li>11 作業療法をとりまく諸制度</li> <li>12 作業療法臨床実習の理解と管理体制(1)</li> <li>13 作業療法臨床実習の理解と管理体制(2)</li> <li>14 作業療法士のキャリア開発(1)</li> <li>15 作業療法士のキャリア開発(2)、まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	配布資料の復習		
教科書・教材等	作業療法管理学入門 第2版		
授業の形式 教育機器の活用	講義 パソコン プロジェクター		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法士の職域は広がるとともに、リハビリテーションチームとしても多くの他職種の方と関わるようになった。制度の理解やマネジメントについても求められる時代となっており、その基本は理解しておいてください。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	身体機能治療学Ⅲ-2(中枢系)	担当教官名	加藤 孝幸
対象学生	3 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	評価計画の立案 治療計画の立案 動作、活動分析を通じた実践体験		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 中枢神経(脳・脊髄)疾患の特徴に合わせた作業療法評価と治療の計画の立案と実践を体験を通して習得します。</p> <p>到達目標 ①対象疾患における評価の選択、立案を行う事ができる。 ②問題点の抽出から目標の設定を行う事ができる。 ③目標に合わせた治療プログラムの立案を行う事ができる。</p> <p>実務者経験 2010年 作業療法士免許取得 2010年 回復期リハビリテーション病院にて14年間勤務 2023年 京都医健専門学校に専任教員として入職 回復期病院では脳血管疾患の患者様を中心に退院支援まで包括的な関りを経験 2022年 リハビリテーション医学会発表 2023年 米国神経学会誌に論文発表</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 急性期リハビリテーション(目標・有効性・作業療法アプローチ)</li> <li>3 回復期リハビリテーション(目標・有効性・作業療法アプローチ)</li> <li>4 生活期リハビリテーション(目標・有効性・作業療法アプローチ)</li> <li>5 中枢神経疾患に対するの評価・治療の選定</li> <li>6 中枢神経疾患に対するの評価・治療の選定</li> <li>7 神経筋疾患に対するの評価・治療の選定</li> <li>8 神経筋疾患に対するの評価・治療の選定</li> <li>9 神経変性疾患に対するの評価・治療の選定</li> <li>10 神経変性疾患に対するの評価・治療の選定</li> <li>11 動作分析(基本動作分析から問題点の抽出と治療考察)</li> <li>12 動作分析(基本動作分析から問題点の抽出と治療考察)</li> <li>13 活動分析(ADL場面から問題点の抽出と治療考察)</li> <li>14 活動分析(ADL場面から問題点の抽出と治療考察)</li> <li>15 まとめ</li> </ol>		
準備学習	事前に教科書を読み内容を把握		
教科書・教材等	脳卒中リハビリテーション(インターメディカ) 標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学(医学書院)		
授業の形式 教育機器の活用	演習 視聴覚機器利用		
成績評価の方法	各項目の治療立案レポート(各20% 合計40%) 確認テスト(60%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	臨床場面で出会う事の多い疾患に対して。対象疾患への理解を深め。評価。問題点の抽出。プログラムの立案までを実際の症例や動画を見ながら思考を深めていきます。		

令和 6 年度京都医健専門学校授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	日常生活活動学Ⅱ-2	担当教官名	西林 賢裕
対象学生	3 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	疾患別の作業療法 動作分析 生活の改善		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 各種の代表疾患の日常生活活動の分析する方法を実践的に習得します。</p> <p>到達目標 ①疾患別のADLの特徴を理解し説明できる ②動作分析を理解し動作のポイントを絞ることができる</p> <p>実務者経験 2006年 作業療法士免許取得 2006年 平成医療福祉グループ(地域領域・回復期・養成校) 2016年 滋慶学園グループ(鳥取校・京都校) 2018年 長期講習修了 臨床時には地域医療を中心に様々な疾患に対し関わり、養成 校所属時は産学官連携にて障がい者スポーツに対して取り組み 2020年次の作業療法学会にて活動報告実施。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 動作の見方</li> <li>3 脳血管障害の動作・治療</li> <li>4 脳血管障害の動作・治療</li> <li>5 脳血管障害の動作・治療</li> <li>6 脳血管障害の動作・治療</li> <li>7 神経筋疾患の動作・治療</li> <li>8 神経筋疾患の動作・治療</li> <li>9 神経筋疾患の動作・治療</li> <li>10 神経筋疾患の動作・治療</li> <li>11 運動器障害の動作・治療</li> <li>12 運動器障害の動作・治療</li> <li>13 運動器障害の動作・治療</li> <li>14 運動器障害の動作・治療</li> <li>15 まとめ</li> <li>16 解説</li> </ol>		
準備学習	講義と合わせての演習になります、しっかりと復習しておきましょう		
教科書・教材等	教科書:クリニカル作業療法シリーズ 日常生活活動の作業療法・資料		
授業の形式 教育機器の活用	演習 視聴覚機器利用		
成績評価の方法	ポート課題(100%)で評価		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	成績評価はレポートになります、提出期限ないでよろしく願いいたします。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野
授業科目名	老年期治療学Ⅱ-2	担当教官名	堂岡 悠理
対象学生	3 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	老年期治療 リスク管理 地域包括ケアシステム介護保険		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 老年期障害の特徴に合わせた作業療法評価と、治療の計画の立案と実践を体験を通じて習得します。</p> <p>到達目標 ①老年期で起こりやすい内部疾患について説明する事ができる ②老年期で起こりやすい整形疾患について説明する事ができる ③作業療法評価・介入方法について説明する事ができる</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 臨床時には総合病院で主に急性期を担当。また地域包括ケア病棟での作業療法を経験し退院支援にも携わってきた。京都府作業療法士会ではMTDLP推進委員に所属している 2020年 臨床実習指導者講習会 2021年 第一回理学療法士・作業療法士専任教員養成講習会</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 下肢の構造(解剖学の復習)</li> <li>2 大腿近位部骨折の概要・病態</li> <li>3 大腿骨近位部骨折(急性期の作業療法士の役割①)</li> <li>4 大腿骨近位部骨折(急性期の作業療法士の役割②)</li> <li>5 大腿骨近位部骨折に対するの評価(分類 合併症)</li> <li>6 大腿骨近位部骨折に対するの評価 (身体機能評価)</li> <li>7 大腿骨近位部骨折に対するの評価()</li> <li>8 大腿骨近位部骨折(回復期の作業療法士の役割①)</li> <li>9 大腿骨近位部骨折(回復期の作業療法士の役割②)</li> <li>10 大腿骨近位部骨折(生活期の作業療法士の役割)</li> <li>11 グループでの発表(下肢骨折の作業療法について)</li> <li>12 グループディスカッション(グループ発表についての意見交換)</li> <li>13 呼吸器疾患・内部疾患の概要 作業療法評価</li> <li>14 呼吸器疾患・内部疾患の作業療法</li> <li>15 まとめ</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	授業前に前回の内容を復習をして臨んでください		
教科書・教材等	作業療法評価学(医学書院) 標準理学療法学・作業療法学「老年学」【医学書院】配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	実 技 視聴覚機器(パソコン、プロジェクター)		
成績評価の方法	レポート課題(100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	高齢者に特徴的な疾患や症状について学び、臨床で必要な評価や治療の視点を習得します。演習を通じて知識・技術を高め国家試験にも対応しましょう。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	運動学Ⅲ	担当教官名	西林 賢裕・南條 千人
対象学生	3 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	膝・股関節の運動学 脊柱・体幹 姿勢・歩行 運動学習		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 主に下肢の運動、バイオメカニクス、運動学習などについて取得します。</p> <p>到達目標 ① 関節、股関節、脊柱の運動の概要が説明できる ② 正常な姿勢と歩行、異常歩行について説明できる ③ 運動学習について説明できる ④ ハンドヘルドダイナモメーター、表面筋電計を使用できる</p> <p>実務者経験 2006年 作業療法士免許取得 2006年 平成医療福祉グループ(地域領域・回復期・養成校) 2016年 滋慶学園グループ(鳥取校・京都校) 2018年 長期講習修了 臨床時には地域医療を中心に様々な疾患に対し関わり、養成校所属時は産学官連携にて障がい者スポーツに対して取り組み 2020年次の作業療法学会にて活動報告実施。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 膝関節の運動学(南條)</li> <li>2 膝関節の運動学(南條)</li> <li>3 足・足部の運動学(南條)</li> <li>4 足・足部の運動学(南條)</li> <li>5 脊柱・体幹の運動学(南條)</li> <li>6 脊柱・体幹の運動学(南條)</li> <li>7 姿勢・歩行(南條)</li> <li>8 姿勢・歩行(南條)</li> <li>9 姿勢・歩行(南條)</li> <li>10 運動学実習(西林)</li> <li>11 運動学実習(西林)</li> <li>12 運動学実習(西林)</li> <li>13 運動学習(西林)</li> <li>14 運動学習(西林)</li> <li>15 まとめ 国家試験演習(西林)</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	下肢・体幹の筋の支配神経・起始停止を見直しておくこと		
教科書・教材等	教科書・講義資料		
授業の形式 教育機器の活用	演習 骨格模型、視聴覚教材等		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	対象者の活動を理解する上で大変重要な知識となります。しっかり理解するようにして下さい		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	義肢装具学演習	担当教官名	谷村 浩子
対象学生	3 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	義肢 装具 切断 適合判定 制度		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 義肢装具の意義と臨床で必要な制度、適合方法について修得します</p> <p>到達目標 ①各種義肢・装具の特徴を説明できる ②各種義肢・装具とOTの関連について説明できる ③各種義肢・装具の使い方や制度の概要適、合判定などの評価を説明できる ④各種義肢・装具を使用したOTプログラムを立案できる</p> <p>実務者経験 1985年作業療法士免取得 2023年教育学修士 専門作業療法士(手外科)2010、認定ハンドセラピスト(2009) 1985年大阪医科大学付属病院入職(2012年まで) 2012年京都医健専門学校入職 2004年 第16回日本ハンドセラピ学会 学術集会会長 2017年 第32回日本RAのリハビリ研究会 学術集会会長 2018年 第6回京都府作業療法学会 学術集会会長 2021年 第9回中部日本ハンドセラピ研究会学術集会会長</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 義手の種類と適応</li> <li>2 義手の部位</li> <li>3 義手の適合判定</li> <li>4 切断に対する作業療法 義手の操作訓練の実際</li> <li>5 装具の種類と適応</li> <li>6 スプリントの種類と適応</li> <li>7 スプリントの種類と適応</li> <li>8 まとめ 国家試験演習</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	義肢装具を必要とする疾患の概要を理解しておく		
教科書・教材等	教科書、講義資料		
授業の形式 教育機器の活用	演習 実際の義肢・装具、視聴覚教材等		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	義肢装具の知識は必ず身につけておかなければならぬものです。予習・復習を行い十分理解できるようになって下さい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野
授業科目名	高次脳機能障害治療学 I-1	担当教官名	掛川 泰朗
対象学生	3 年	履修学期	前 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	高次脳機能障害の定義、意識障害、注意障害、半側空間無視、記憶障害、失認、失行、失語、遂行機能障害、社会的行動障害		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 高次脳機能とその障害、症状別の評価・治療法について習得します。</p> <p>到達目標 ①高次脳機能について説明できる ②高次脳機能障害の概要を説明できる ③各症状の概要と評価、治療法を説明できる</p> <p>実務者経験 約11年間、総合病院で中枢神経疾患を中心に高次脳機能障害患者に対してリハビリテーションを実施。大学院では、高次脳機能障害、特に右半球損傷の人物や自己身体の誤認について研究し、学位(博士)を取得。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高次脳機能障害の作業療法(概論)</li> <li>2 脳の各部位とその機能</li> <li>3 意識障害・注意障害</li> <li>4 記憶障害</li> <li>5 半側空間無視</li> <li>6 行為・行動障害</li> <li>7 遂行機能障害</li> <li>8 コミュニケーション障害</li> <li>9 視覚失認</li> <li>10 社会的行動障害</li> <li>11 高次脳機能障害 症例検討</li> <li>12 高次脳機能障害 症例検討レジュメの書き方</li> <li>13 高次脳機能障害・脳画像の国家試験対策①</li> <li>14 高次脳機能障害・脳画像の国家試験対策②</li> <li>15 まとめ・臨床で見過ごされやすい高次脳機能障害</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	授業前に次回分の教科書を一読すると理解しやすいです		
教科書・教材等	石川朗総編集、高次脳機能障害・実習 (15レクチャー作業療法テキスト)、配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	講 義 プロジェクター・ホワイトボード・パソコン		
成績評価の方法	小テスト(30%) 定期試験(70%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	脳の機能と生活障害の関連づけを意識して理解する意識を持ってください。対象に寄り添うためには確実な理解と応用が必要です。単元終了時には小テストを予定しています。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	高次脳機能障害治療学 I-2	担当教官名	掛川 泰朗
対象学生	3 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	高次脳機能障害の定義、意識障害、注意障害、半側空間無視、記憶障害、失認、失行、失語、遂行機能障害、社会的行動障害		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 高次脳機能とその障害、症状別の評価・治療法について習得します。</p> <p>到達目標 ①高次脳機能について説明できる ②高次脳機能障害の概要を説明できる ③各症状の概要と評価、治療法を説明できる ④各症状の評価・治療を实践できる</p> <p>実務者経験 約11年間、総合病院で中枢神経疾患を中心に高次脳機能障害患者に対してリハビリテーションを実施。大学院では、高次脳機能障害、特に右半球損傷の人物や自己身体の誤認について研究し、学位(博士)を取得。 2018年より大学で研究と教育に従事している。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 作業療法プロセスの中の高次脳機能障害評価</li> <li>2 脳画像の見方</li> <li>3 注意障害に対する評価と作業療法</li> <li>4 記憶障害に対する評価と作業療法</li> <li>5 半側空間無視に対する評価と作業療法</li> <li>6 行為・行動障害に対する評価と作業療法</li> <li>7 遂行機能障害に対する評価と作業療法</li> <li>8 コミュニケーション障害に対する評価と作業療法</li> <li>9 視覚失認に対する評価と作業療法</li> <li>10 評価から治療について</li> <li>11 症例検討 1 事例紹介</li> <li>12 治療</li> <li>13 症例検討 2 事例紹介</li> <li>14 治療</li> <li>15 まとめ</li> <li>16 定期試験なし、(レポート課題)</li> </ol>		
準備学習	授業前に次回分の教科書を一読すると理解しやすいです		
教科書・教材等	石川朗総編集、高次脳機能障害・実習 (15レクチャー作業療法テキスト)、配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	実技 プロジェクター・ホワイトボード・パソコン		
成績評価の方法	小テスト(30%) レポート(70%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	脳の機能と生活障害の関連づけを意識して理解する意識を持ってください。対象に寄り添うためには確実な理解と応用が必要です。単元終了時には小テストを予定しています。		



令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	作業療法総合演習Ⅲ-2	担当教官名	渡邊 弘樹
対象学生	3 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	人体の形態構造 細胞 組織 器官の機能 総合的知識整理		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 3年次に学習した基礎知識を応用できるよう実践を通して学びます。</p> <p>到達目標 ①上皮組織、結合組織、軟骨、骨組織、筋組織および神経組織について構造と機能を説明できる                  ②発生の受精、胚葉の形成、胚子期、胎児期について説明できる                  ③人体各器官および顔面の発生について概説できる                  ④基礎医学知識の定着再確認と総合的知識の整理ができ、これを問題解決に応用できる</p> <p>実務者経験 前解剖学大学教授、医学博士(岡山大学)、歯科医師</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション・細胞①(形態的特徴と機能)</li> <li>2 細胞②(細胞機能と病態)</li> <li>3 上皮・結合組織</li> <li>4 血管(動脈・静脈・毛細血管)と血液(血球と血漿)</li> <li>5 筋組織(顔面手足の筋肉)と軟骨</li> <li>6 骨組織(骨の細胞と骨の形態、骨の種類と骨の発生))</li> <li>7 復習①(細胞～骨:到達目標に達するためのチェックポイント)</li> <li>8 前半まとめ 解剖生理学的知識と病態知識の融合確認</li> <li>9 消化器系(食道、胃、小腸、大腸、肝臓、膵臓)</li> <li>10 内分泌系(膵臓、副腎、甲状腺、下垂体)</li> <li>11 呼吸器系(鼻腔、喉頭、気管、肺)</li> <li>12 神経系(神経組織、中枢、末梢神経)</li> <li>13 運動生理</li> <li>14 発生学(発生、顔面と臓器発生)</li> <li>15 復習②とまとめ(消化器～発生までの形態機能と病態知識の融合)</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	問題チェック形式のプリント学習		
教科書・教材等	標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖学 医学書院 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 生理学 医学書院 配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	演習 視聴覚機器利用		
成績評価の方法	中間試験＋定期試験(100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	限られた講義時間ですべての必要項目を学ぶため、1講義あたりの進度が速い。よって、講義時に配布される穴埋め講義ノートプリントを利用した講義終了後の復習が、必要である。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	身体機能治療学Ⅲ-1(中枢系)	担当教官名	加藤 孝幸
対象学生	3 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	疾患別作業療法 作業療法評価 疾患特性に合わせた時期別作業プログラムの立案		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 中枢神経(脳・脊髄)疾患の特徴と作業療法評価・治療を関連づけて知識を習得します。</p> <p>到達目標 ①臨床現場で出会う事のおおい中枢疾患における病態の理解 ②中枢疾患に対して適切な評価や活動分析を学び解釈する。</p> <p>実務者経験 2010年 作業療法士免許取得 2010年 回復期リハビリテーション病院にて14年間勤務 2023年 京都医健専門学校に専任教員として入職 回復期病院では脳血管疾患の患者様を中心に退院支援まで包括的な関りを経験 2022年 リハビリテーション医学会発表 2023年 米国神経学会誌に論文発表</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 中枢神経疾患(脳血管疾患・頭部外傷・脊髄損傷)</li> <li>3 中枢神経疾患(脳血管疾患・頭部外傷・脊髄損傷)</li> <li>4 神経筋疾患(ギランバレー症候群・多発性硬化症・重症筋無力症)</li> <li>5 神経筋疾患(ギランバレー症候群・多発性硬化症・重症筋無力症)</li> <li>6 神経変性疾患(パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋萎縮性側索硬化症)</li> <li>7 神経変性疾患(パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋萎縮性側索硬化症)</li> <li>8 まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	事前に教科書を読み内容を把握		
教科書・教材等	脳卒中リハビリテーション(インターメディカ) 標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学(医学書院)		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器利用		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	臨床現場で出会う事の多い疾患に対して、作業療法がどのように展開されているか疾患から実態を確認していきます。その為にも作業療法を実施する上で、欠かせない医学的知識、作業療法評価、目標設定、急性期から回復期。地域での生活を送るうえでの作業療法プログラムの立案まで、意識し、学びを深められるよう講義を展開します。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	身体機能治療学IV-1(運動・内部系)	担当教官名	岩井有香・谷村浩子
対象学生	3 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	自己免疫疾患 神経難病 がん 末梢神経損傷		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 運動器疾患や内部疾患の特徴と作業療法評価・治療を関連付けて知識を習得します。</p> <p><b>到達目標</b> 1. 対象の疾患に対し、特徴を説明できる。 2. 医学的治療とOTの関連について説明できる。 3. 各疾患に対するOT評価を説明できる。 4. 各疾患の病期や程度にあわせてOTプログラムを立案できる。</p> <p><b>実務者経験</b> 2007年作業療法士国家資格取得 2007年医療法人和風会 千里リハビリテーション病院入職 2010年大阪医科大学附属病院(現:大阪医科薬科大学病院)入職 2023年より現職 臨床現場では、脳血管疾患、脳腫瘍、整形外科疾患、内部疾患などの多岐にわたる症例の診療に携わってきた。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 関節リウマチ概説 (谷村)</li> <li>2 関節リウマチ・変形性関節症の概説並びにOTの実際(谷村)</li> <li>3 がんに対するOT 概論・周術期・終末期 (岩井)</li> <li>4 末梢神経損傷概説 (谷村)</li> <li>5 末梢神経損傷のOTの実際、ギランバレー症候群に対するOT(谷村)</li> <li>6 皮膚筋炎・多発性筋炎・全身性エリテマトーデスに対するOT(岩井)</li> <li>7 糖尿病に対するOT (岩井)</li> <li>8 呼吸器疾患に対するOT (岩井)</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	内科学、整形外科学等関連する疾患についてを見直しておくこと。		
教科書・教材等	教科書、講義資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚教材等		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法を実施する上での基礎となります。十分な予習・復習を行って下さい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	身体機能治療学Ⅳ-2 (内部・運動系)	担当教官名	岩井有香・谷村 浩子
対象学生	3 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	神経難病 がん 末梢神経損傷 スプリント 治療手技		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 運動器疾患や内部疾患の特徴に合わせた作業療法評価と治療の計画の立案と実践を体験を通して習得します。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象の疾患に対し、特徴を説明できる。</li> <li>2. 医学的治療とOTの関連について説明できる。</li> <li>3. 各疾患に対するOT評価を説明できる。</li> <li>4. 各疾患の病期や程度にあわせてOTプログラムを立案できる。</li> </ol> <p>実務者経験 2007年作業療法士国家資格取得 2007年医療法人和風会 千里リハビリテーション病院入職 2010年大阪医科大学附属病院(現:大阪医科薬科大学病院)入職 2023年より現職 臨床現場では、脳血管疾患、脳腫瘍、整形外科疾患、内部疾患などの多岐にわたる症例の診療に携わってきた。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション、上肢運動器疾患に対するOTの実際 (岩井)</li> <li>2 関節リウマチに対する評価(谷村)</li> <li>3 関節リウマチ、OAIに対するOTの実際 症例検討(谷村)</li> <li>4 がんに対するOTの実際 症例検討 (岩井)</li> <li>5 末梢神経損傷に対す知覚検査(谷村・岩井)</li> <li>6 末梢神経損傷に対するOTアプローチ(谷村)</li> <li>7 末梢神経損傷・GBSに対するOTの実際 症例検討(谷村)</li> <li>8 呼吸器疾患に対する評価とOTアプローチ(岩井)</li> <li>9 治療手技:スプリント作製 コックアップスプリント 型紙作製(谷村・岩井)</li> <li>10 治療手技:スプリント作製 コックアップスプリント(谷村・岩井)</li> <li>11 治療手技:スプリント作製 コックアップスプリント(谷村・岩井)</li> <li>12 治療手技:スプリント作製 短対立、RIC(谷村・岩井)</li> <li>13 治療手技:スプリント作製 短対立、RIC(谷村・岩井)</li> <li>14 治療手技:スプリント作製 webスペーサー(谷村・岩井)</li> <li>15 国家試験演習 身体機能障害学まとめ (岩井)</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	疾患に対する基礎知識を有しておくこと。		
教科書・教材等	教科書・講義資料		
授業の形式 教育機器の活用	演習 実際のスプリント、視聴覚教材等		
成績評価の方法	提出物:症例検討レポート(70%)、作製したスプリント(30%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	国家試験にもよく出題される範囲です。しっかり理解して下さい。スプリント作製はOTにとって大きな武器になります。技術の習得に努めて下さい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野
授業科目名	精神障害治療学Ⅱ-1	担当教官名	服部 律子
対象学生	3 年	履修学期	前 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	8 回
授業のキーワード	精神科・障害特性・作業療法		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 精神障害疾患の特徴と作業療法評価・治療を関連付けて知識を習得します。</p> <p>到達目標 ・精神科で担当することが多い疾患の障害特性を理解することができる。 ・精神科で担当することが多い疾患に対する作業療法を理解することができる。</p> <p>実務者経験 医学部附属病院・総合病院精神科・介護老人保健施設・地域活動ホーム・認知症疾患医療センターなどで勤務歴あり。 作業療法士・精神保健福祉士取得</p> <p>文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム「発達症への介入による国民的健康課題の解決」修了。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 神経発達症群に対する作業療法(評価と治療)</li> <li>2 統合失調症に対する作業療法(評価と治療)</li> <li>3 双極性障害・うつ病に対する作業療法(評価と治療)</li> <li>4 不安症・解離症・身体症状症に対する作業療法(評価と治療)</li> <li>5 知的障害・認知症・てんかんに対する作業療法(評価と治療)</li> <li>6 摂食障害に対する作業療法(評価と治療)</li> <li>7 パーソナリティ障害群に対する作業療法(評価と治療)</li> <li>8 器質性精神障害・精神作用物質使用による精神及び行動の障害 (評価と治療)</li> <li>9 定期試験</li> </ol>		
準備学習	これまでに学習した関連科目の復習をしておいてください。		
教科書・教材等	<p>・長崎重信(監):作業療法学ゴールドマスターテキスト 精神障害作業療法学(第3版)、メジカルビュー社、2021。 ISBN:978-4-7583-2046-7</p> <p>・新宮尚人(編):標準作業療法学 精神機能作業療法学(第3版)、医学書院、2020。 ISBN:978-4-260-03944-4</p>		
授業の形式 教育機器の活用	講 義 パソコン プロジェクター		
成績評価の方法	定期試験		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	精神科では自己を客観視することを要します。 講義を通して、自己理解を促し、他者を正確に分析する力を養ってください。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	日常生活活動学Ⅱ-1	担当教官名	西林 賢裕
対象学生	3 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	日常生活活動評価 疾患別動作 動作観察		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 臨床で関わる機会の多い日常生活活動を分析する方法を習得します。</p> <p>到達目標 ①ADLの評価と治療の計画および実施のために、疾患を理解する ②家庭での生活行為の評価計画とプログラム立案を理解する</p> <p>実務者経験 2006年 作業療法士免許取得 2006年 平成医療福祉グループ(地域領域・回復期・養成校) 2016年 滋慶学園グループ(鳥取校・京都校) 2018年 長期講習修了 臨床時には地域医療を中心に様々な疾患に対し関わり、養成校所属時は産学官連携にて障がい者スポーツに対して取り組み 2020年次の作業療法学会にて活動報告実施。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 日常生活活動の評価 (FIM)</li> <li>3 日常生活活動の評価 (FIM)</li> <li>4 脳血管障害のADL</li> <li>5 神経筋疾患のADL</li> <li>6 運動器障害のADL</li> <li>7 整形外科疾患のADL</li> <li>8 まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	演習と合わせて実施するので演習前にしっかりと内容を把握しておく		
教科書・教材等	日常生活活動の作業療法 クリニカル作業シリーズ		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器利用		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法士が取り扱う主要な業務です。しっかりまなびましょう		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	発達障害治療学	担当教官名	田中 裕二
対象学生	3 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	反射・反応 発達評価 発達障害 脳性麻痺		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 発達障害疾患の特徴、作業療法評価と治療を関連付けて習得します。</p> <p>到達目標 ①人間発達の視点から各段階における健康問題や支援について説明できる ②各障害について理解し、評価・治療内容を考えることが出来る</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 正常発達</li> <li>2 正常発達</li> <li>3 脳性麻痺の評価と治療</li> <li>4 発達障害の基礎</li> <li>5 症例検討(集団療育)</li> <li>6 症例検討(集団療育)</li> <li>7 発表</li> <li>8 発表</li> <li>9 症例検討(TEEACHプログラム)</li> <li>10 症例検討(TEEACHプログラム)</li> <li>11 発表</li> <li>12 重症心身障害児・者の評価と治療</li> <li>13 重症心身障害児・者の評価と治療</li> <li>14 遺伝性疾患</li> <li>15 演習問題</li> <li>16 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	授業当日か翌日中に復習をしましょう		
教科書・教材等	「作業療法評価学(第三版)」 医学書院・標準作業療法学 よくわかる発達障害のこどもたち ナツメ社		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器利用		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法士として、どの分野でも必要な知識になります。初めて聞く単語も多いため、予習・復習を行いましょう。 国家試験、臨床の知識に活かしていけるように共に学んでいきましょう。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	福祉住環境論	担当教官名	堂岡 悠理
対象学生	3 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	住環境 個別性 福祉用具 自立支援		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 住環境整備の意義と作業療法に必要な制度、在宅改修の基礎知識などを習得します。</p> <p>到達目標 ①疾患・障害の特徴や生活上の問題を捉え、必要な福祉住環境整備を説明することができる ②対象者の個別性を捉え、自立支援をのあり方を理解する ③在宅改修に必要な家屋図面を描くことができる</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 臨床時には総合病院で主に急性期を担当。また地域包括ケア病棟での作業療法を経験し、退院支援にも携わってきた。京都府作業療法士会ではMTDLP推進委員に所属している。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高齢者の生活状況と住環境整備(住環境整備の問題点と課題)</li> <li>2 疾患別、障害別にみる住環境整備(脳血管疾患)</li> <li>3 疾患別、障害別にみる住環境整備(関節リウマチ パーキンソン病)</li> <li>4 疾患別、障害別にみる住環境整備(脊髄損傷・内部疾患)</li> <li>5 福祉住環境整備の共通基本技術</li> <li>6 生活行為別福祉住環境整備の手法</li> <li>7 福祉住環境整備の実践に必要な基礎知識</li> <li>8 まとめ</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	普段の生活から家屋状況・周辺環境について調べておくこと		
教科書・教材等	福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト 配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器使用		
成績評価の方法	定期試験100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	作業療法を実践するにあたり、対象者の家屋状況を知ることは重要になります。生活行為向上マネジメントの環境因子の分析を捉えることができるようになります。		



令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	福祉用具学	担当教官名	堂岡 悠理
対象学生	3 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	福祉用具 自助具 代償的アプローチ 個別性		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 福祉用具の意義と臨床に必要な制度、適合方法について習得します。</p> <p>到達目標 ①福祉用具の目的を説明することができる ②ADLと福祉用具の関係性について説明することができる ③福祉用具を代償的アプローチとして使用することができる</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 臨床では総合病院で主に急性期を担当。また地域包括ケア病棟での作業療法を経験し、退院支援にも携わってきた。さらに臨床では、片手で内服することができる自助具を作成し、学会で発表。臨床経験から、対象者の生活機能を代償する自助具の選定、適用の手順、方法について教授する。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 福祉用具の概論 介護保険施設における福祉用具</li> <li>2 福祉用具の種類と活用方法 (起居、床上、移乗)</li> <li>3 福祉用具の種類と活用方法 (車いす、杖、歩行)</li> <li>4 福祉用具の実践(症例から活用方法を学ぶ)①</li> <li>5 福祉用具の実践(症例から活用方法を学ぶ)②</li> <li>6 福祉用具の種類と活用方法 (整容、更衣、排泄)</li> <li>7 福祉用具の種類と活用方法 (食事、家事、余暇、コミュニケーション機器)</li> <li>8 まとめ (疾患から福祉用具を捉える) 国家試験問題</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	普段の生活から代償的アプローチについて理解しておく。		
教科書・教材等	配布資料、福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器使用		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	福祉用具を使用し代償的にアプローチする視点は、作業療法士の専門性を発揮する上で重要になります。本講義で生活を支える作業療法士について学習していきましょう。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	老年期治療学Ⅱ-1	担当教官名	堂岡 悠理
対象学生	3 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	8 回
授業のキーワード	Parkinson病 評価 治療 環境調整		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 老年期障害の特徴と作業療法評価・治療を関連付けて知識を習得します。</p> <p>到達目標 ①高齢者で起こりやすい神経疾患について説明できる ②高齢パーキンソン病における作業療法について説明できる ③高齢者の転倒により発生する神経疾患について説明できる ④認知症高齢者の病態・診断・治療・介護を理解する</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 臨床時には総合病院で主に急性期を担当。また地域包括ケア病棟での作業療法を経験し退院支援にも携わってきた。京都府作業療法士会ではMTDLP推進委員に所属している 2020年 臨床実習指導者講習会 2021年 第一回理学療法士・作業療法士専任教員養成講習会</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 高齢期に多い疾患（循環器疾患）</li> <li>2 高齢期に多い疾患(呼吸器疾患・神経疾患)</li> <li>3 Parkinson病の疫学・症状</li> <li>4 Parkinson病に対する作業療法評価①(振戦 固縮 無動)</li> <li>5 Parkinson病に対する作業療法評価②(バランス 歩行・ADL・IADL)</li> <li>6 Parkinson病に対する治療①(可動域 筋力 持久力 歩行)</li> <li>7 Parkinson病に対する治療②(基本動作 ADL 環境設定)</li> <li>8 高齢期作業療法治療学(まとめ)</li> <li>9 定期試験・試験解説</li> </ol>		
準備学習	高齢期に多い疾患。特にParkinson病について事前に予習しておいてください。		
教科書・教材等	配布資料 標準作業療法学—作業療法評価学第3版		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器(パソコン プロジェクター)		
成績評価の方法	定期試験 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	Parkinson病に対する評価、治療などのプロセスを学びます。臨床実習や国家試験に向けての学習も取り入れながら実施していきます。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	その他
授業科目名	キャリア教育演習Ⅲ	担当教官名	加藤 孝幸
対象学生	3 年	履修学期	通 年
必修・選択の別	必修	授業回数	15 回
授業のキーワード	自己分析 課題解決能力 計画と実行		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 集団協議や面接を繰り返しながら職業人としての基礎を習得します。</p> <p>到達目標 ①自らの役割の価値や自分と役割の関係をみつける。 ②考える手段、方法を学び理解し活用することができる。 ③卒後の働き方を含めた将来の自分を思い描くことができる。</p> <p>実務者経験 2010年 作業療法士免許取得 2010年 回復期リハビリテーション病院にて14年間勤務 2023年 京都医健専門学校に専任教員として入職 回復期病院では脳血管疾患の患者様を中心に退院支援まで包括的な関わりを経験 2022年 リハビリテーション医学会発表 2023年 米国神経学会誌に論文発表</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 キャリア教育とは(役割と価値について)</li> <li>3 作業療法士とマナー・常識</li> <li>4 コミュニケーション技法(コミュニケーションの基本・疾患別コミュニケーション)</li> <li>5 実践に即した記録報告</li> <li>6 クリニカルクラークシップ</li> <li>7 論理的思考(MECE・トップダウンアプローチ・ボトムアップアプローチ)</li> <li>8 クリニカルリーズニング</li> <li>9 作業療法面接の必要性和理解</li> <li>10 臨地実習の基本的な流れ</li> <li>11 リアルな臨床(臨床現場)</li> <li>12 就職関連(就職先・国の方針・就職後のキャリア)</li> <li>13 日本作業療法士協会について</li> <li>14 生涯学習の行い方</li> <li>15 まとめ</li> <li>16 自己振り返り</li> </ol>		
準備学習	配布資料の確認		
教科書・教材等	OT臨床臨地実習ルートマップ、他		
授業の形式 教育機器の活用	演習 視聴覚教材使用		
成績評価の方法	レポート 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	基礎的・汎用的能力を確実に育成するとともに、社会や職業との関連を重視し、実践的・体験的な活動を重視した講義を展開していきます。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野																																																
授業科目名	作業療法総合演習Ⅲ-1	担当教官名	岩井 有香・加藤 孝幸																																																
対象学生	3 年	履修学期	通 年																																																
必修・選択の別	必 修	授業回数	30 回																																																
授業のキーワード	臨床思考過程 教育用電子カルテ 客観的臨床能力試験																																																		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 3年次に学習した基本の手技を応用できるよう実践を通して習得します。</p> <p>到達目標 ①評価から治療までの流れを理解し説明できる ②作業療法の実践を通し対象者理解のための臨床推論を展開できる ③カルテの見方や他部門情報の役立て方を実践し説明できる</p> <p>実務者経験 2007年作業療法士国家資格取得 2007年医療法人和風会 千里リハビリテーション病院入職 2010年大阪医科大学附属病院(現:大阪医科薬科大学病院)入職 2023年より現職 臨床現場では、脳血管疾患、脳腫瘍、整形外科疾患、内部疾患などの多岐にわたる症例の診療に携わってきた。</p>																																																		
講義計画・内容	<table border="0"> <tr><td>1 OSCE オリエンテーション</td><td>17</td><td>作業療法の実際</td></tr> <tr><td>2 OSCE 標準予防策・リスク管理</td><td>18</td><td>作業療法の実際</td></tr> <tr><td>3 OSCE コミュニケーション技法</td><td>19</td><td>作業療法の実際</td></tr> <tr><td>4 OSCE 高次脳機能障害の推測</td><td>20</td><td>作業療法の実際</td></tr> <tr><td>5 OSCE 車椅子の駆動介助</td><td>21</td><td>作業療法の実際</td></tr> <tr><td>6 OSCE 移乗介助</td><td>22</td><td>作業療法の実際</td></tr> <tr><td>7 OSCE 関節可動域測定</td><td>23</td><td>作業療法の実際</td></tr> <tr><td>8 OSCE 筋力測定</td><td>24</td><td>作業療法の実際 症例検討</td></tr> <tr><td>9 OSCE 感覚検査</td><td>25</td><td>作業療法の実際 症例検討</td></tr> <tr><td>10 OSCE 反射検査</td><td>26</td><td>作業療法の実際 症例検討</td></tr> <tr><td>11 OSCE 脳卒中の麻痺側運動評価</td><td>27</td><td>作業療法の実際 症例検討</td></tr> <tr><td>12 OSCE 脳卒中の麻痺側運動評価</td><td>28</td><td>作業療法の実際 症例検討発表</td></tr> <tr><td>13 OSCE 運動失調検査</td><td>29</td><td>作業療法の実際 症例検討発表</td></tr> <tr><td>14 OSCE 立位バランス</td><td>30</td><td>まとめ</td></tr> <tr><td>15 作業療法の実際</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16 作業療法の実際</td><td></td><td></td></tr> </table>			1 OSCE オリエンテーション	17	作業療法の実際	2 OSCE 標準予防策・リスク管理	18	作業療法の実際	3 OSCE コミュニケーション技法	19	作業療法の実際	4 OSCE 高次脳機能障害の推測	20	作業療法の実際	5 OSCE 車椅子の駆動介助	21	作業療法の実際	6 OSCE 移乗介助	22	作業療法の実際	7 OSCE 関節可動域測定	23	作業療法の実際	8 OSCE 筋力測定	24	作業療法の実際 症例検討	9 OSCE 感覚検査	25	作業療法の実際 症例検討	10 OSCE 反射検査	26	作業療法の実際 症例検討	11 OSCE 脳卒中の麻痺側運動評価	27	作業療法の実際 症例検討	12 OSCE 脳卒中の麻痺側運動評価	28	作業療法の実際 症例検討発表	13 OSCE 運動失調検査	29	作業療法の実際 症例検討発表	14 OSCE 立位バランス	30	まとめ	15 作業療法の実際			16 作業療法の実際		
1 OSCE オリエンテーション	17	作業療法の実際																																																	
2 OSCE 標準予防策・リスク管理	18	作業療法の実際																																																	
3 OSCE コミュニケーション技法	19	作業療法の実際																																																	
4 OSCE 高次脳機能障害の推測	20	作業療法の実際																																																	
5 OSCE 車椅子の駆動介助	21	作業療法の実際																																																	
6 OSCE 移乗介助	22	作業療法の実際																																																	
7 OSCE 関節可動域測定	23	作業療法の実際																																																	
8 OSCE 筋力測定	24	作業療法の実際 症例検討																																																	
9 OSCE 感覚検査	25	作業療法の実際 症例検討																																																	
10 OSCE 反射検査	26	作業療法の実際 症例検討																																																	
11 OSCE 脳卒中の麻痺側運動評価	27	作業療法の実際 症例検討																																																	
12 OSCE 脳卒中の麻痺側運動評価	28	作業療法の実際 症例検討発表																																																	
13 OSCE 運動失調検査	29	作業療法の実際 症例検討発表																																																	
14 OSCE 立位バランス	30	まとめ																																																	
15 作業療法の実際																																																			
16 作業療法の実際																																																			
準備学習	授業準備は開始前までにグループで確認を実施																																																		
教科書・教材等	臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・測定技術編。(第2版 補正版)																																																		
授業の形式 教育機器の活用	演 習 教育用電子カルテ・視聴覚教材																																																		
成績評価の方法	レポート100%																																																		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	評価実習に向けて、適切な態度や言葉遣い、正確な技術を習得できるようにしっかりと繰り返し練習などを行って下さい。																																																		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作 業 療 法 科	授 業 科 目 区 分(基専)	基 礎 分 野
授 業 科 目 名	地域作業療法学Ⅲ	担 当 教 官 名	安田育生・富松 衛
対 象 学 生	3 年	履 修 学 期	通 年
必 修・選 択 の 別	必 修	授 業 回 数	15 回
授 業 の キー ワー ド	作業療法士の役割 地域医療 連携		
授 業 の 概 要 及 び 到 達 目 標	<p>授業の概要 地域リハビリテーションの作業療法士の関りについて実践的に習得します</p> <p>到達目標 ①症例検討を実践し、臨床思考過程を理解する ②地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割を理解する</p> <p>実務者経験 2016年 作業療法士免許取得 リハビリ専門病院にて回復期・慢性期の病棟に勤務 2019年 クリニックに併設した訪問リハビリテーション部に勤務 2021年 精神科の訪問看護ステーションに勤務 2023年 京都医健専門学校に勤務</p>		
講 義 計 画・内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 地域における作業療法</li> <li>2 情報収集</li> <li>3 評価</li> <li>4 プログラム立案</li> <li>5 発表①</li> <li>6 発表②</li> <li>7 まとめ</li> <li>8 インテーク面接の流れと実践</li> <li>9 アセスメントの流れと実践</li> <li>10 ニーズ整理表の作成</li> <li>11 サービス等利用計画書の作成</li> <li>12 サービス等利用計画書の作成</li> <li>13 本人向けサービス等利用計画書の制作</li> <li>14 本人向けサービス等利用計画書の制作</li> <li>15 まとめ(就労)</li> </ol>		
準 備 学 習	提供した事例に対する具体的な評価・介入計画について自己学習する。		
教 科 書・教 材 等	配布資料		
授 業 の 形 式 教 育 機 器 の 活 用	演 習 視 聴 覚 機 器 アクティブラーニング		
成 績 評 価 の 方 法	レポート課題 (ルーブリック評価)		
担 当 教 官 か ら (履 修 に あ た っ て の 留 意 点)	自分で課題を見つけ出し、能動的に授業に取り組むよう心掛けて下さい。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	臨床実習Ⅲ(見学実習)	担当教官名	加藤孝幸・学科専任教員
対象学生	3 年	履修学期	後 期
必修・選択の別	必修	授業回数	80 時間
授業のキーワード	作業療法治療の目的 客観的能力試験 実習報告		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 臨床実習指導者の指導・管理のもと、対象者の面接や評価を実施します。また、リハに携わるスタッフの対象社に対する接し方や評価の目的や項目の選択方法を学びます。</p> <p>到達目標 ①職業人としての常識的態度を身につける ②責任ある行動を身につけ、実践することができる ③実習で体験・見学下作業療法士の職務内容を説明できる ④実習施設における作業療法部門の位置づけや、実施内容を説明することができる</p> <p>実務者経験 “2010年 作業療法士免許取得 2010年 回復期リハビリテーション病院にて14年間勤務 2023年 京都医健専門学校に専任教員として入職 回復期病院では脳血管疾患の患者様を中心に退院支援まで包括的な関りを経験 2022年 リハビリテーション医学会発表 2023年 米国神経学会誌に論文発表”</p>		
講義計画・内容	<p>【実習前】</p> <p>実習オリエンテーション ・ 客観的能力試験</p> <p>【臨床実習】</p> <p>作業療法士の実習施設における役割と対象者に対する治療の目的を理解できる</p> <p>臨床推論を展開できる</p> <p>【実習後】</p> <p>実習報告会 ・ 客観的能力試験</p>		
準備学習	学習した知識・技術の復習		
教科書・教材等	所有している教科書・資料等		
授業の形式 教育機器の活用	実 習 視聴覚機器(レポート作成・報告会等)		
成績評価の方法	実習施設評価(50%) 学内評価(50%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	自己意識を高め、客観的臨床技能試験に向けた協同学習にて対策、対応を各自で行い、学内教育から臨床実習へと領域学習を段階的に進めていけるよう学びを深めていきます。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	臨床実習Ⅳ(評価実習)	担当教官名	加藤孝幸・学科専任教員
対象学生	3 年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	200 時間
授業のキーワード	作業療法評価 客観的能力試験 実習報告		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 臨床実習指導者の管理の下で、作業療法の評価計画を立案し、実際の評価結果をまとめ、治療計画の立案までを体験しながら習得します。また、地域包括ケアシステムの強化に資する高度医療人材の育成のために、臨床実習指導者の管理の下で、医療・地域分野など様々な作業療法現場で実際の作業療法を理解します。</p> <p><b>到達目標</b> ①作業療法評価計画を立てることができる ②対象者に必要な評価手段を選択できる ③評価結果を整理し全体像を把握することができる ④域包括ケアシステムの概要を説明できる</p> <p><b>実務者経験</b> 2010年 作業療法士免許取得 2010年 回復期リハビリテーション病院にて14年間勤務 2023年 京都医健専門学校に専任教員として入職 回復期病院では脳血管疾患の患者様を中心に退院支援まで包括的な関りを経験 2022年 リハビリテーション医学会発表 2023年 米国神経学会誌に論文発表</p>		
講義計画・内容	<p><b>【実習前】</b></p> <p>実習オリエンテーション ・ 推論試験 ・ 客観的能力試験</p> <p><b>【臨床実習】</b></p> <p>対象者の評価結果を解釈しプログラム立案を実施</p> <p><b>【実習後】</b></p> <p>実習報告会 ・ 推論試験 ・ 客観的能力試験</p>		
準備学習	代表的な疾患に関する基本的な作業療法評価に対する知識・技能の習得を行う		
教科書・教材等	所有している教科書・資料等		
授業の形式 教育機器の活用	実習 視聴覚機器(レポート作成・報告会等)		
成績評価の方法	実習施設評価(50%) 学内評価(50%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	評価実習では実際に対象者を評価し、介入する経験を行います。実習生としての身嗜みや関わり方を再確認し、評価・分析から対象者の全体像を捉えられるよう事前準備を進め、実習での経験をより深められるように進めていきます。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	臨床実習Ⅴ(総合臨床実習)	担当教官名	辻井智・学科専任教員
対象学生	4 年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	360時間(5月13日～7月12日) 40時間:学内
授業のキーワード	作業療法評価・治療 症例報告 OSCE		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 臨床実習施設・指導者の下、実際の作業療法の評価・治療などを体験します。</p> <p>到達目標 一般的な特性を呈する対象者に対して、医療人として望ましい態度で、作業療法実践課程(初期評価・計画立案・治療実施・再評価)を臨床実習指導者の指導の下に遂行できる。また、作業療法士として自覚をもった行動をとることができる。</p> <p>実務者経験 作業療法士として一般病院・老人保健施設・訪問リハビリテーション・住宅改修など、臨床から在宅指導まで経験。 また、施設長としてリハビリテーション関連施設の管理運営を行ってきた。 資格:作業療法士・介護支援専門員・福祉用具プランナー</p>		
講義計画・内容	<p>【臨床実習施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的態度</li> <li>・基本的臨床技能(評価・再評価)</li> <li>・基本的臨床技能(治療)</li> <li>・作業療法管理・運営</li> </ul>	<p>【学内】</p> <p>実習前</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・筆記試験(臨床推論)</li> <li>・実技(OSCE)</li> </ul> <p>実習後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・症例報告会</li> <li>・筆記試験(臨床推論)</li> <li>・実技(OSCE)</li> </ul>	
準備学習	観察・評価法の復習、評価のまとめについて学習しOSCEや臨床推論を通して臨床能力の形成評価を行う。		
教科書・教材等	これまで使用した教科書		
授業の形式 教育機器の活用	実習 視聴覚機器		
成績評価の方法	実習施設評価(50%) 学内評価(50%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	臨床実習では、作業療法士の行動を学びます。指導は真摯に受け止め、主体的に行動に移すこと。基本的な学生の身なり、立ち振る舞いに関しても意識しましょう。		



令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野
授業科目名	臨床実習Ⅵ(総合臨床実習)	担当教官名	辻井智・学科専任教員
対象学生	4 年	履修学期	前 期
必修・選択の別	必 修	授業回数	360時間(8月5日～10月11日) 40時間:学内
授業のキーワード	作業療法評価・治療 症例報告 OSCE		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 臨床実習施設・指導者の下、実際の作業療法の評価・治療などを経験します。</p> <p><b>到達目標</b> 一般的な特性を呈する対象者に対して、医療人として望ましい態度で、作業療法実践課程(初期評価・計画立案・治療実施・再評価)を臨床実習指導者の指導の下に遂行できる。また、作業療法士として自覚をもった行動をとることができる。</p> <p><b>実務者経験</b> 作業療法士として一般病院・老人保健施設・訪問リハビリテーション・住宅改修など、臨床から在宅指導まで経験。 また、施設長としてリハビリテーション関連施設の管理運営を行ってきた。 資格:作業療法士・介護支援専門員・福祉用具プランナー</p>		
講義計画・内容	<p>【臨床実習施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的態度</li> <li>・基本的臨床技能(評価・再評価)</li> <li>・基本的臨床技能(治療)</li> <li>・作業療法管理・運営</li> </ul>	<p>【学内】</p> <p>実習前</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・筆記試験(臨床推論)</li> <li>・実技(OSCE)</li> </ul> <p>実習後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・症例報告会</li> <li>・筆記試験(臨床推論)</li> <li>・実技(OSCE)</li> </ul>	
準備学習	観察・評価法の復習、評価のまとめについて学習しOSCEや臨床推論を通して臨床能力の形成評価を行う。		
教科書・教材等	これまで使用した教科書		
授業の形式 教育機器の活用	実 習 視聴覚機器		
成績評価の方法	実習施設評価(50%) 学内評価(50%)		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	臨床実習では、作業療法士の行動を学びます。指導は真摯に受け止め、主体的に行動に移すこと。基本的な学生の身なり、立ち振る舞いに関しても意識しましょう。		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専 門 分 野																																																																
授業科目名	作業療法科総合演習IV-1	担当教官名	糟谷 圭吾・西林 賢裕																																																																
対象学生	4 年	履修学期	後 期																																																																
必修・選択の別	必 修	授業回数	30 回																																																																
授業のキーワード	人体の構造と機能 循環器系 消化器系 泌尿器系 呼吸器系 代謝 内分泌系 神経系 感覚器																																																																		
授業の概要 及び到達目標	<p><b>授業の概要</b> 生命維持にかかせない概念を習得し、本授業終了時には人体の構造・機能について説明ができるようになる。</p> <p><b>到達目標</b> どの領域においても国試レベルでの問題正解率80%前後を達成することができるようになる。</p> <p><b>実務者経験</b> 1994～1996 歯科医療研修振興財団 臨床研修課程を収める。 1996～歯科医師として臨床業務に従事。 1998～2001歯学部付属病院に所属する。主業務として中央手術室における全身麻酔管理および外来病棟(有病者歯科)における全身管理業務に従事。</p>																																																																		
講義計画・内容	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション・循環器系①(構造を中心)</td> <td>17</td> <td>作業療法管理学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>循環器系②(生理学的範囲)</td> <td>18</td> <td>作業療法学と治療学(共通)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>消化器系の生理学①</td> <td>19</td> <td>作業療法学と治療学(身体障害)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>消化器系の生理学②</td> <td>20</td> <td>作業療法学と治療学(身体障害)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>泌尿器系①(構造を中心)</td> <td>21</td> <td>作業療法学と治療学(身体障害)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>泌尿器系②(生理学的範囲)</td> <td>22</td> <td>作業療法学と治療学(精神・心理の障害)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>呼吸器系①構造と生理学</td> <td>23</td> <td>作業療法学と治療学(精神・心理の障害)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>呼吸器系②酸塩基平衡</td> <td>24</td> <td>作業療法学と治療学(精神・心理の障害)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>代謝①基礎代謝とエネルギー代謝</td> <td>25</td> <td>作業療法学と治療学(発達障害)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>代謝②体温調節・糖代謝</td> <td>26</td> <td>作業療法学と治療学(発達障害)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>内分泌系①総論系</td> <td>27</td> <td>地域作業療法学</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>内分泌系②各論</td> <td>28</td> <td>地域作業療法学</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>神経系の生理学①</td> <td>29</td> <td>臨床実習</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>神経系の生理学②</td> <td>30</td> <td>まとめ</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>感覚器系まとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>基礎作業療法学</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			1	オリエンテーション・循環器系①(構造を中心)	17	作業療法管理学	2	循環器系②(生理学的範囲)	18	作業療法学と治療学(共通)	3	消化器系の生理学①	19	作業療法学と治療学(身体障害)	4	消化器系の生理学②	20	作業療法学と治療学(身体障害)	5	泌尿器系①(構造を中心)	21	作業療法学と治療学(身体障害)	6	泌尿器系②(生理学的範囲)	22	作業療法学と治療学(精神・心理の障害)	7	呼吸器系①構造と生理学	23	作業療法学と治療学(精神・心理の障害)	8	呼吸器系②酸塩基平衡	24	作業療法学と治療学(精神・心理の障害)	9	代謝①基礎代謝とエネルギー代謝	25	作業療法学と治療学(発達障害)	10	代謝②体温調節・糖代謝	26	作業療法学と治療学(発達障害)	11	内分泌系①総論系	27	地域作業療法学	12	内分泌系②各論	28	地域作業療法学	13	神経系の生理学①	29	臨床実習	14	神経系の生理学②	30	まとめ	15	感覚器系まとめ			16	基礎作業療法学		
1	オリエンテーション・循環器系①(構造を中心)	17	作業療法管理学																																																																
2	循環器系②(生理学的範囲)	18	作業療法学と治療学(共通)																																																																
3	消化器系の生理学①	19	作業療法学と治療学(身体障害)																																																																
4	消化器系の生理学②	20	作業療法学と治療学(身体障害)																																																																
5	泌尿器系①(構造を中心)	21	作業療法学と治療学(身体障害)																																																																
6	泌尿器系②(生理学的範囲)	22	作業療法学と治療学(精神・心理の障害)																																																																
7	呼吸器系①構造と生理学	23	作業療法学と治療学(精神・心理の障害)																																																																
8	呼吸器系②酸塩基平衡	24	作業療法学と治療学(精神・心理の障害)																																																																
9	代謝①基礎代謝とエネルギー代謝	25	作業療法学と治療学(発達障害)																																																																
10	代謝②体温調節・糖代謝	26	作業療法学と治療学(発達障害)																																																																
11	内分泌系①総論系	27	地域作業療法学																																																																
12	内分泌系②各論	28	地域作業療法学																																																																
13	神経系の生理学①	29	臨床実習																																																																
14	神経系の生理学②	30	まとめ																																																																
15	感覚器系まとめ																																																																		
16	基礎作業療法学																																																																		
準備学習	解剖学的知識の羅列的暗記のみならず、当該学習項目と関連する生理学、運動学等の関連領域の概念の先行予習																																																																		
教科書・教材等	「解剖学」改訂 第5版 医学書院 ・「生理学」改訂第5版 医学書院																																																																		
授業の形式 教育機器の活用	演習 骨模型・視聴覚機器利用																																																																		
成績評価の方法	定期試験 100%																																																																		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	正常な人体の形態・構造、機能・機序に関する理解は作業療法士として必須項目である。臨床で不可欠の知識、十分な理解が望まれる。暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して欲しい。講義内容が膨大なものとなるため、予習、復習は必須条件である。																																																																		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作 業 療 法 科	授 業 科 目 区 分(基 専)	専 門 分 野																																
授 業 科 目 名	作 業 療 法 総 合 演 習 IV-2	担 当 教 官 名	山 脇 昌・西 林 賢 裕																																
対 象 学 生	4 年	履 修 学 期	後 期																																
必 修・選 択 の 別	必 修	授 業 回 数	30 回																																
授 業 の キー ワード	点ではなく線で覚える																																		
授 業 の 概 要 及 び 到 達 目 標	<p>授業の概要 4年次に学習した基礎知識を応用できるように実践を通して習得します。</p> <p>到達目標 どの領域においても国試レベルでの問題正解率80%前後を達成することができるようになる。</p> <p>実務者経験 直近では東京大学医学部で15年間、講師、准教授として教育・研究・実習・チューター制に携わり、満期退職後は現在まで京都医健専門学校で8年間 解剖生理学、一般臨床医学、国試対策授業に従事して授業、教育経験が豊富である。</p>																																		
講 義 計 画・内 容	<table border="0"> <tr> <td>1 オリエンテーション、心不全</td> <td>17 脳卒中</td> </tr> <tr> <td>2 心不全</td> <td>18 脳卒中</td> </tr> <tr> <td>3 心不全</td> <td>19 脳卒中</td> </tr> <tr> <td>4 呼吸不全</td> <td>20 脳卒中</td> </tr> <tr> <td>5 呼吸不全</td> <td>21 高次脳機能障害</td> </tr> <tr> <td>6 呼吸不全</td> <td>22 高次脳機能障害</td> </tr> <tr> <td>7 肝不全</td> <td>23 神経筋変性疾患</td> </tr> <tr> <td>8 肝不全</td> <td>24 神経筋変性疾患</td> </tr> <tr> <td>9 腎不全</td> <td>25 神経筋変性疾患</td> </tr> <tr> <td>10 腎不全</td> <td>26 運動器</td> </tr> <tr> <td>11 内分泌疾患</td> <td>27 運動器</td> </tr> <tr> <td>12 内分泌疾患</td> <td>28 運動器</td> </tr> <tr> <td>13 代謝疾患</td> <td>29 運動器</td> </tr> <tr> <td>14 代謝疾患</td> <td>30 低正解率問題演習・解説</td> </tr> <tr> <td>15 神経学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16 神経学</td> <td></td> </tr> </table>			1 オリエンテーション、心不全	17 脳卒中	2 心不全	18 脳卒中	3 心不全	19 脳卒中	4 呼吸不全	20 脳卒中	5 呼吸不全	21 高次脳機能障害	6 呼吸不全	22 高次脳機能障害	7 肝不全	23 神経筋変性疾患	8 肝不全	24 神経筋変性疾患	9 腎不全	25 神経筋変性疾患	10 腎不全	26 運動器	11 内分泌疾患	27 運動器	12 内分泌疾患	28 運動器	13 代謝疾患	29 運動器	14 代謝疾患	30 低正解率問題演習・解説	15 神経学		16 神経学	
1 オリエンテーション、心不全	17 脳卒中																																		
2 心不全	18 脳卒中																																		
3 心不全	19 脳卒中																																		
4 呼吸不全	20 脳卒中																																		
5 呼吸不全	21 高次脳機能障害																																		
6 呼吸不全	22 高次脳機能障害																																		
7 肝不全	23 神経筋変性疾患																																		
8 肝不全	24 神経筋変性疾患																																		
9 腎不全	25 神経筋変性疾患																																		
10 腎不全	26 運動器																																		
11 内分泌疾患	27 運動器																																		
12 内分泌疾患	28 運動器																																		
13 代謝疾患	29 運動器																																		
14 代謝疾患	30 低正解率問題演習・解説																																		
15 神経学																																			
16 神経学																																			
準 備 学 習	配布資料の復習を中心に行う																																		
教 科 書・教 材 等	独自作成資料を使用する																																		
授 業 の 形 式 教 育 機 器 の 活 用	演 習 原則対面パワポ授業 状況によりMSチームズを使用した遠隔授業																																		
成 績 評 価 の 方 法	定期試験はない。業者模試の成績などを卒業判定判断材料とする。																																		
担 当 教 官 か ら (履 修 に あ た っ て の 留 意 点)	国試では同一問題同一正解肢の出題はまずなく、丸暗記は意味がありません。選択肢を一つずつ判断できるようにならないと、問題が変わると答えがわからなくなってしまう。そのためには配布資料で、ある事柄に関する重要ポイントを線で理解することが重要です。																																		

令和 6 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	その他
授業科目名	キャリア教育演習Ⅳ	担当教官名	辻井 智
対象学生	4 年	履修学期	通 年
必修・選択の別	必 修	授業回数	15 回
授業のキーワード	自己分析 課題解決能力 計画と実行		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 作業療法士を目指すための学業への取り組み方、臨床現場で求められる行動やコミュニケーション技法について、体験を通して習得する。</p> <p>到達目標 ①自己調整能力を身につける ②自己の方略を身につける</p> <p>実務者経験 作業療法士として一般病院・老人保健施設・訪問リハビリテーション・住宅改修など、臨床から在宅指導まで経験。 また、施設長としてリハビリテーション関連施設の管理運営を行ってきた。 資格:作業療法士・介護支援専門員・福祉用具プランナー</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 1年間のスケジュールリングと行動計画</li> <li>3 臨床に向けての心構え①</li> <li>4 臨床に向けての心構え②</li> <li>5 自己分析</li> <li>6 社会人の基礎力強化のためのロールプレイ</li> <li>7 小論文を通して概要をまとめる</li> <li>8 一般常識</li> <li>9 面接力を高める。模擬面接①</li> <li>10 面接力を高める。模擬面接②</li> <li>11 就職イベントを通しての自己理解①</li> <li>12 就職イベントを通しての自己理解②</li> <li>13 就職イベントを通しての自己理解③</li> <li>14 就職イベントを通しての自己理解④</li> <li>15 問題解決に向けての方略</li> <li>16 自己振り返り</li> </ol>		
準備学習	特記無し		
教科書・教材等	配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	演習 視聴覚教材使用		
成績評価の方法	レポート 100%		
担当教官から (履修にあたっての留意点)	社会人の基礎力を身につけ、臨床で活躍できる作業療法士の準備をしましょう。		